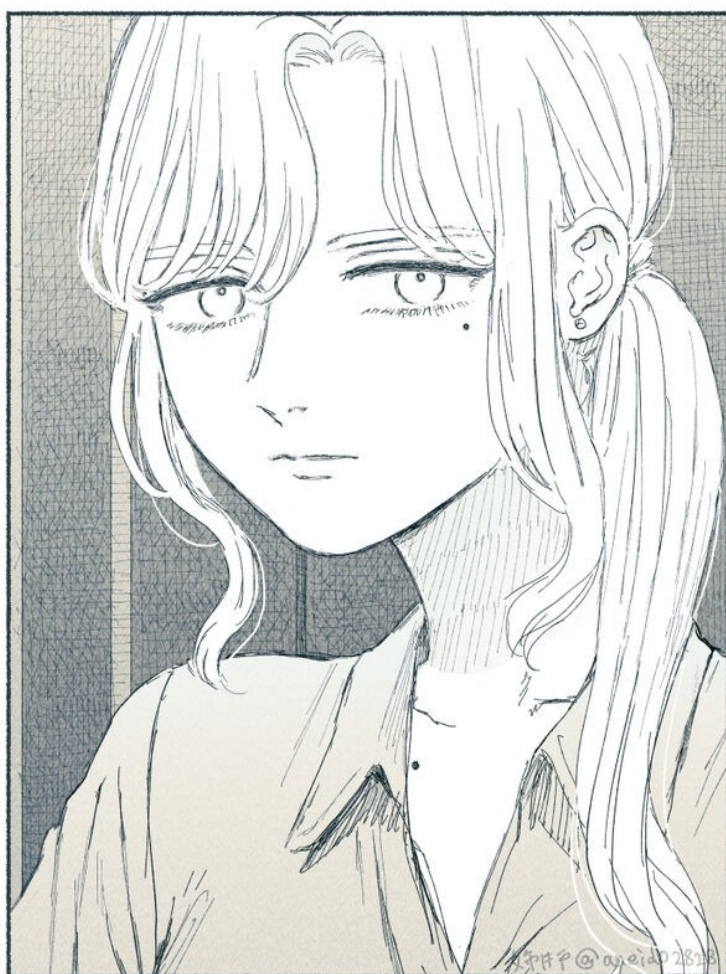
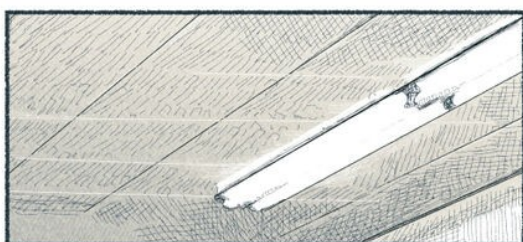
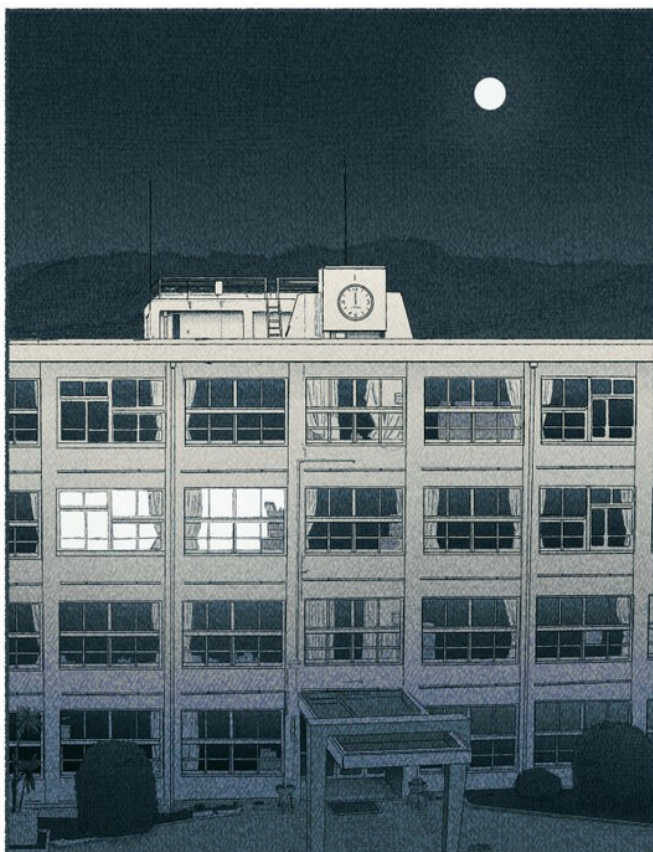


R18
adult only



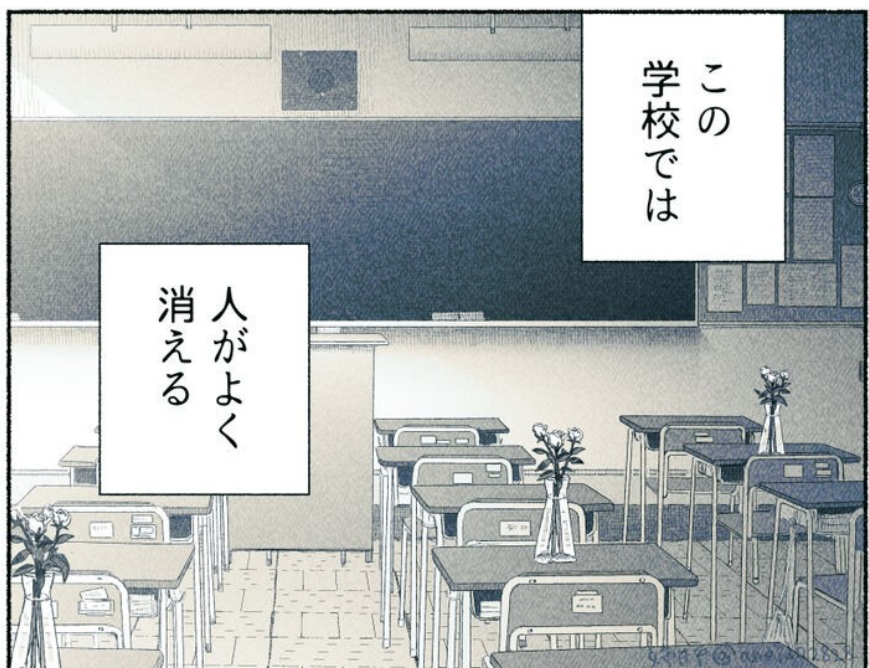
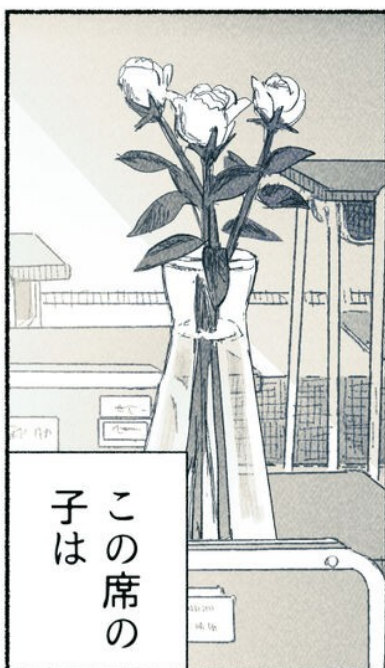
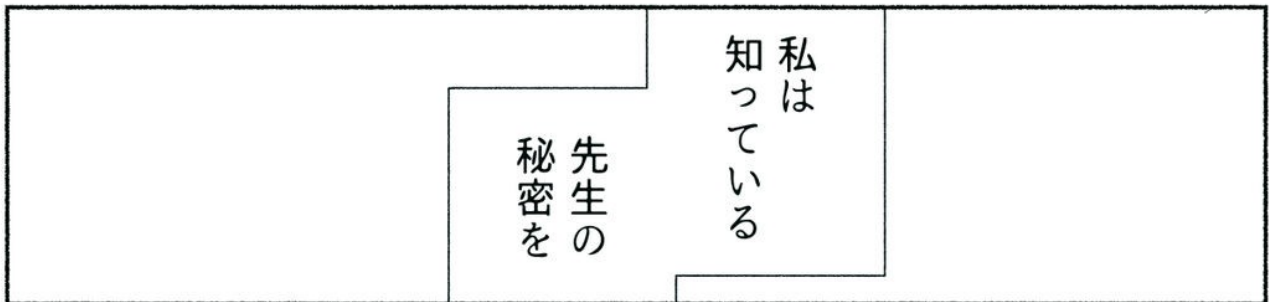
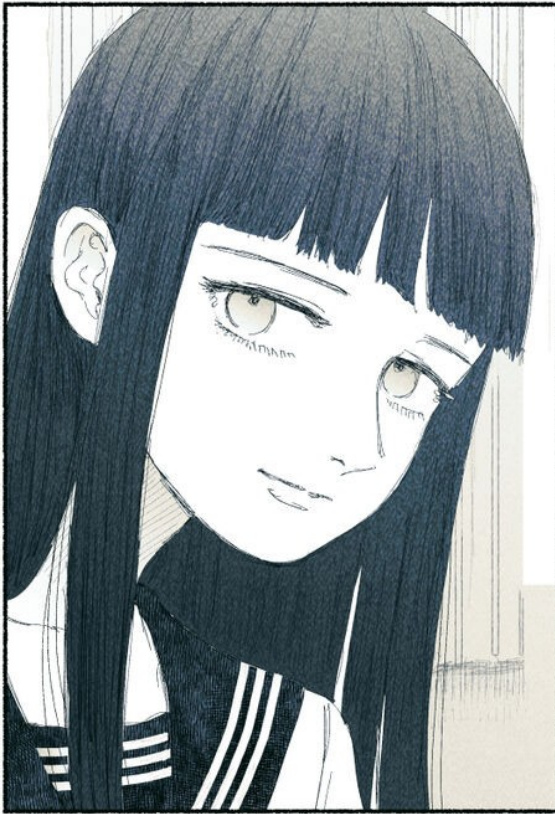
ヤンデレ
お嬢様が
担任教師を
させる話
快樂な
土ち

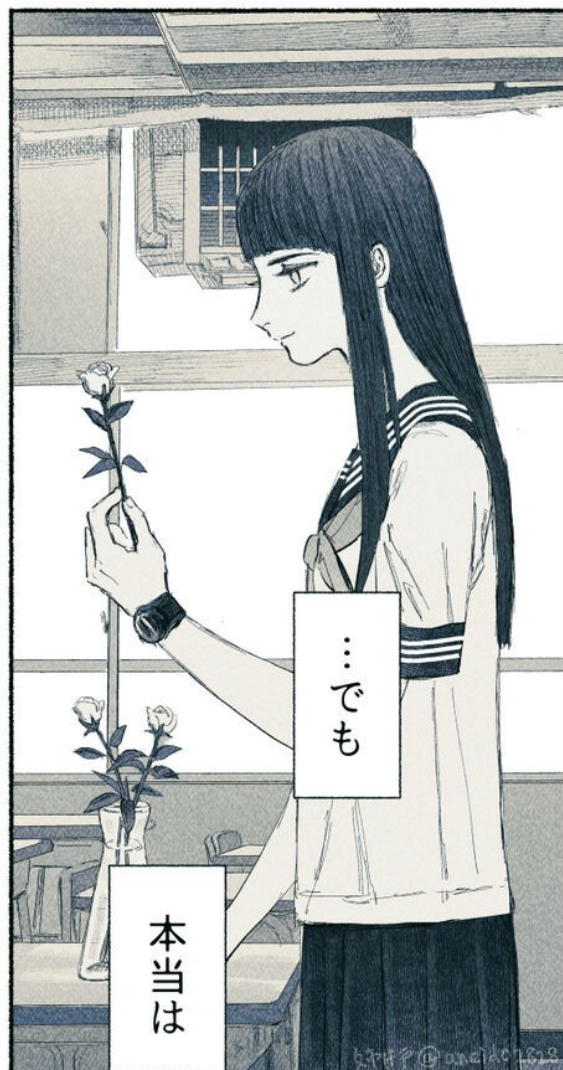
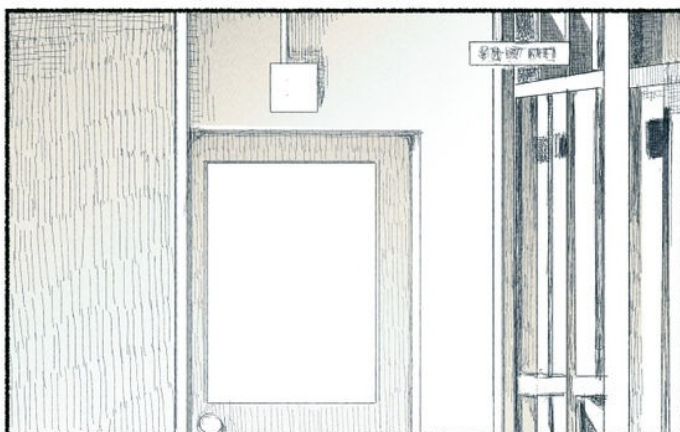
ヤンデレお嬢様が担任教師を
快樂墜ちさせる話
selection
aneido presents



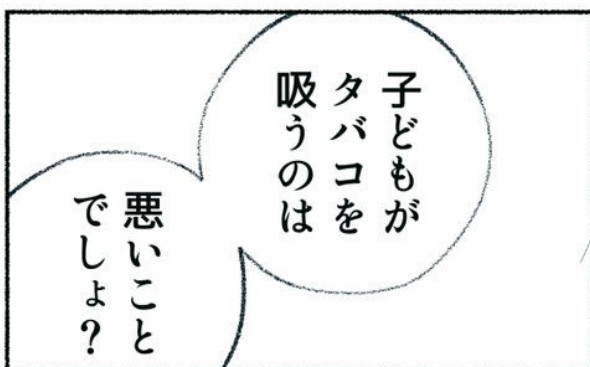














『怒り』は
行方不明に
なった



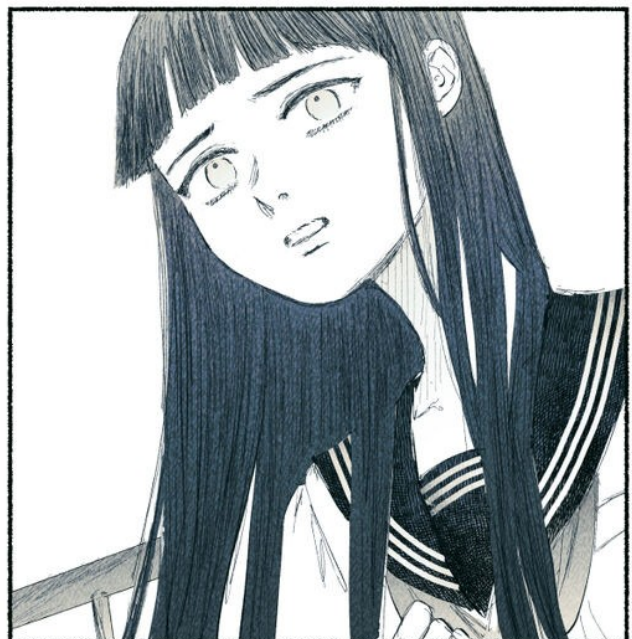
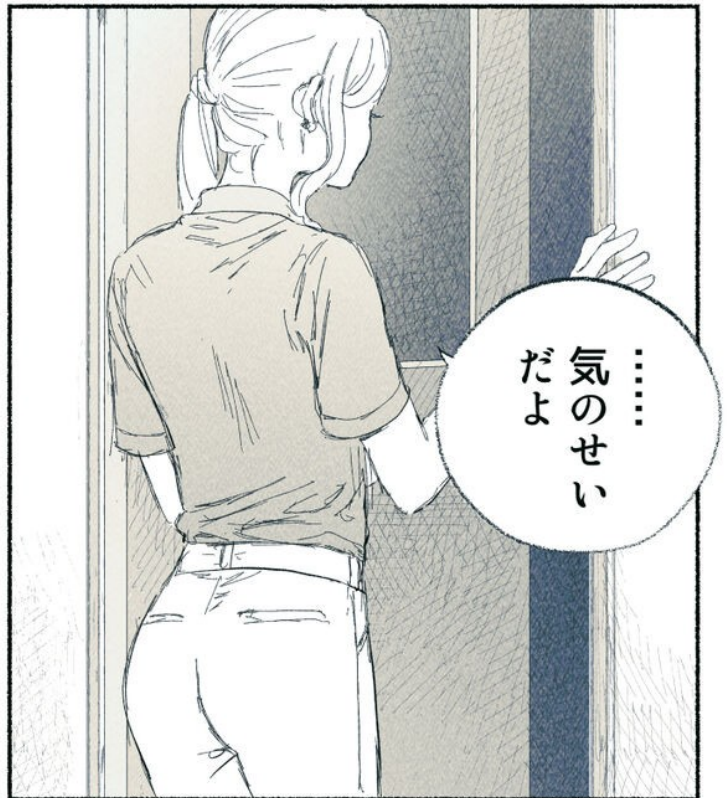
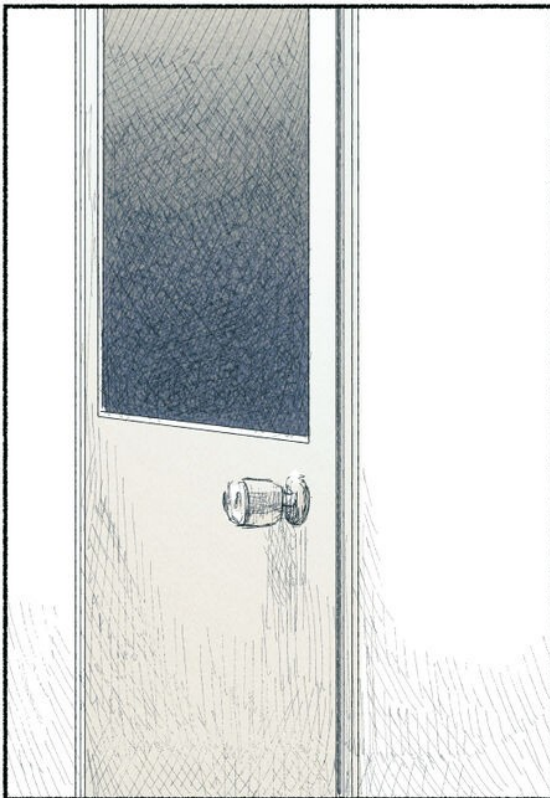
…私

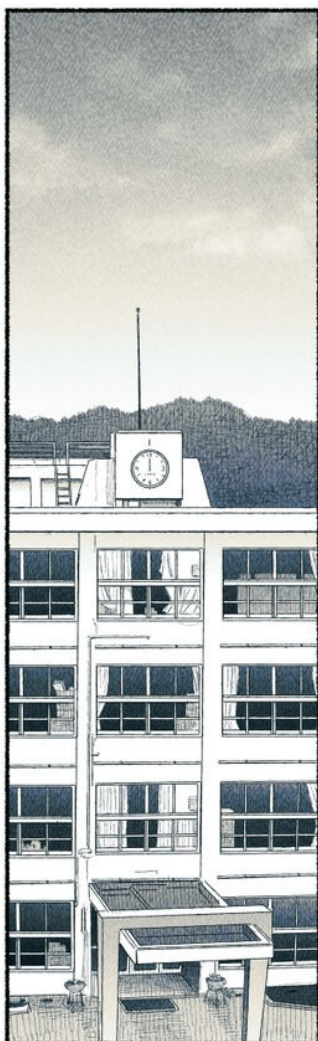
先生の
ことが
気に
なるん
です



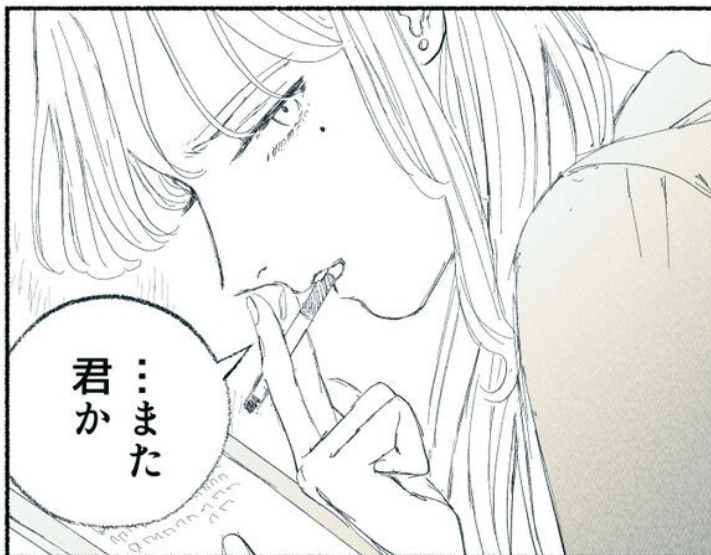
待って！

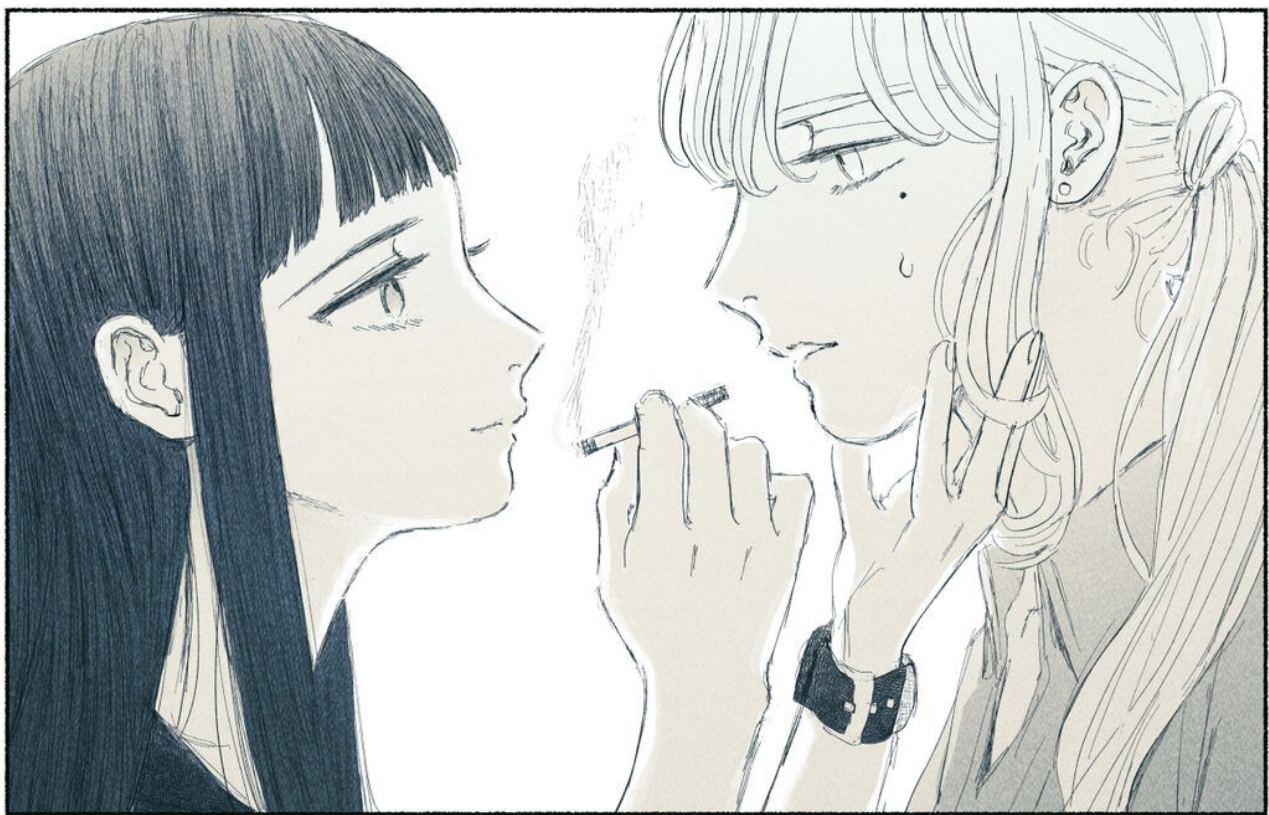


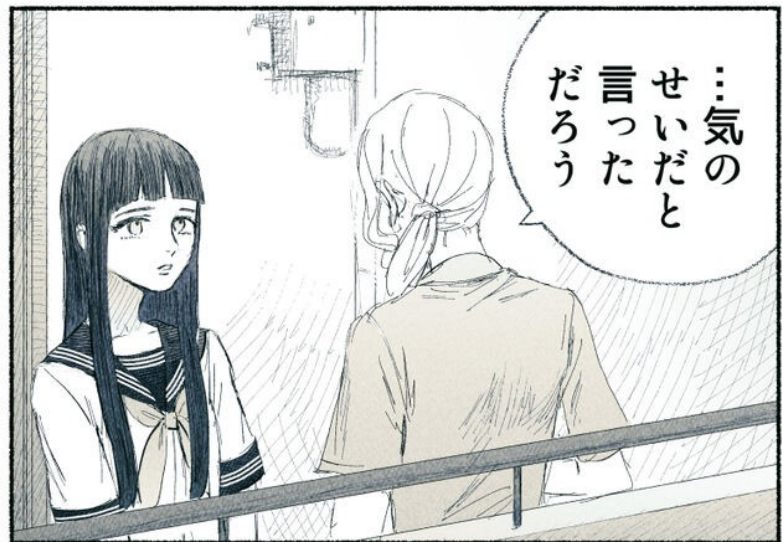


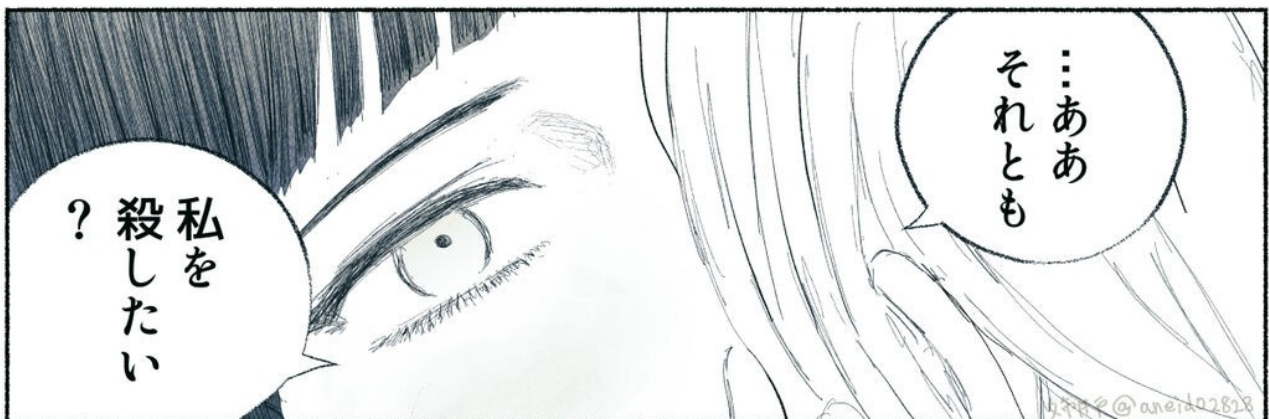
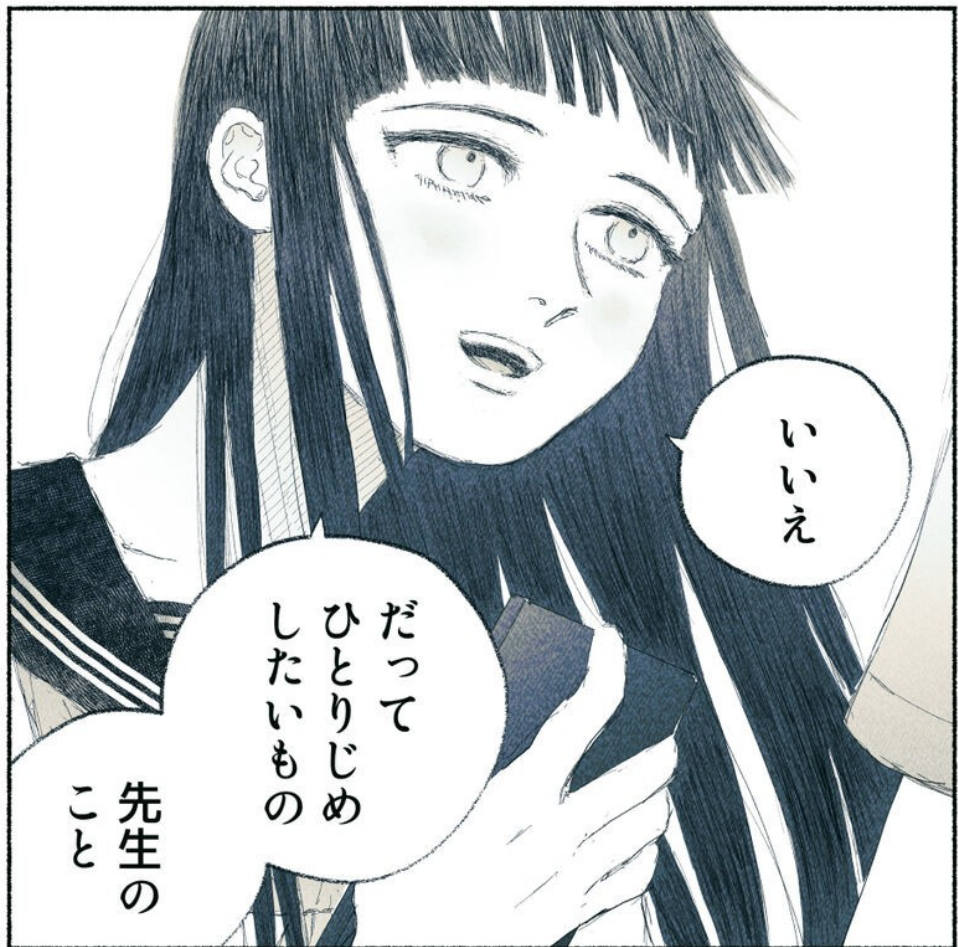


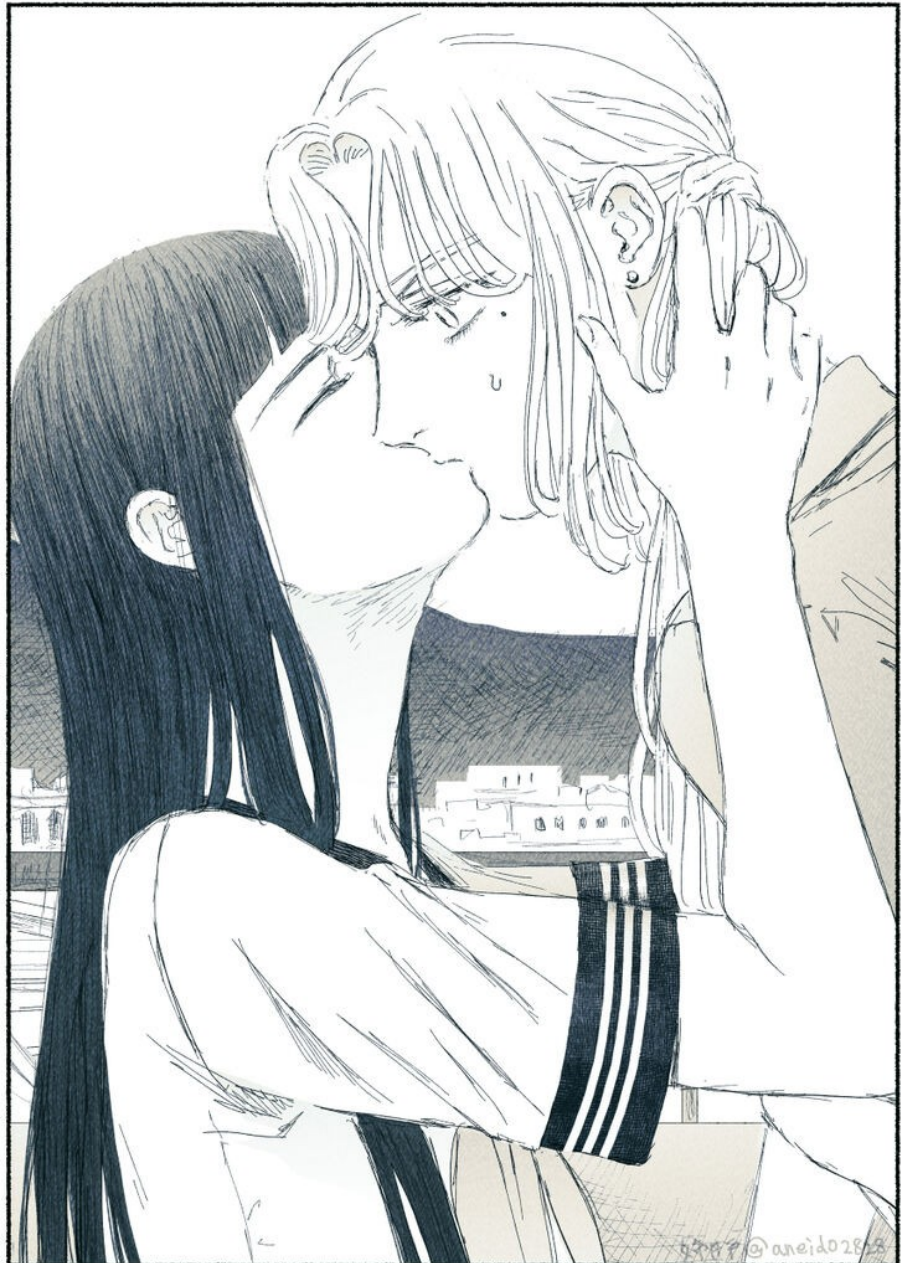
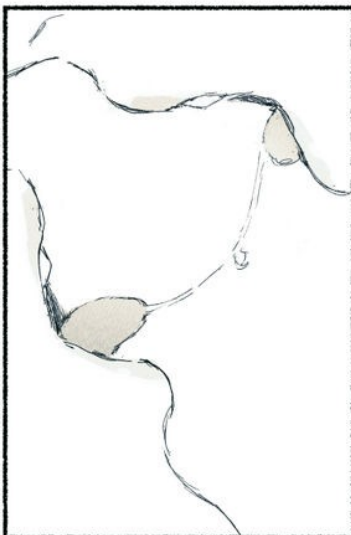


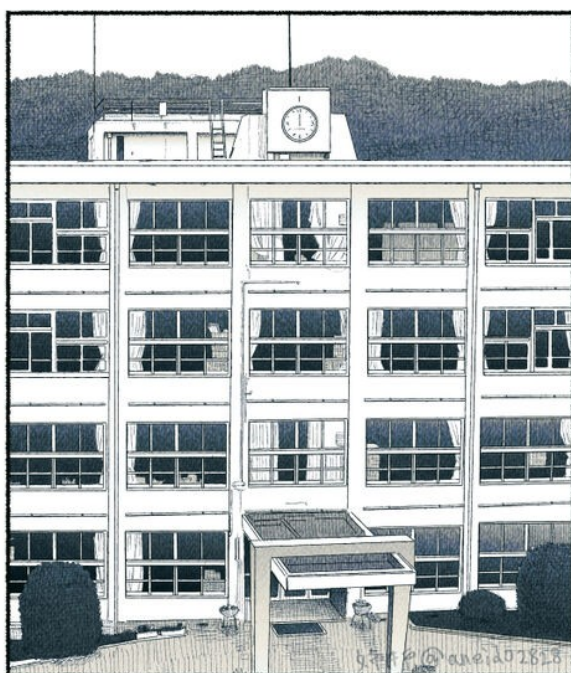
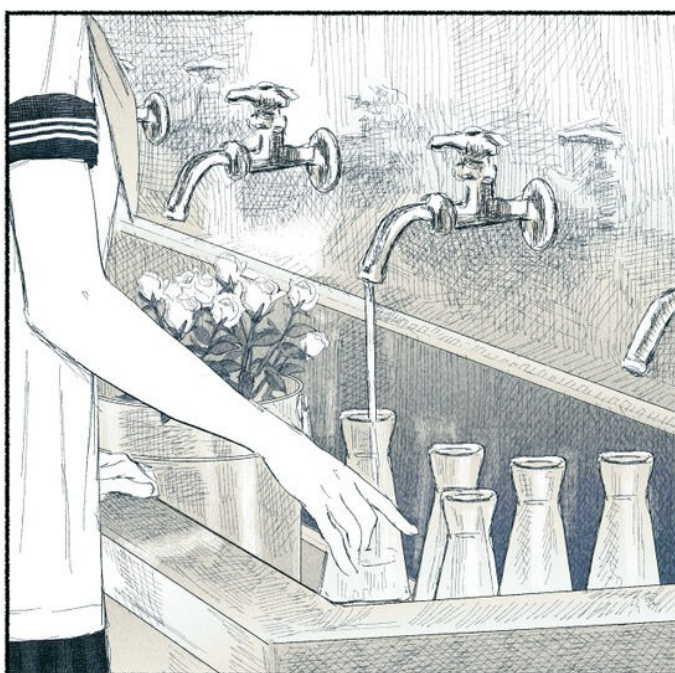
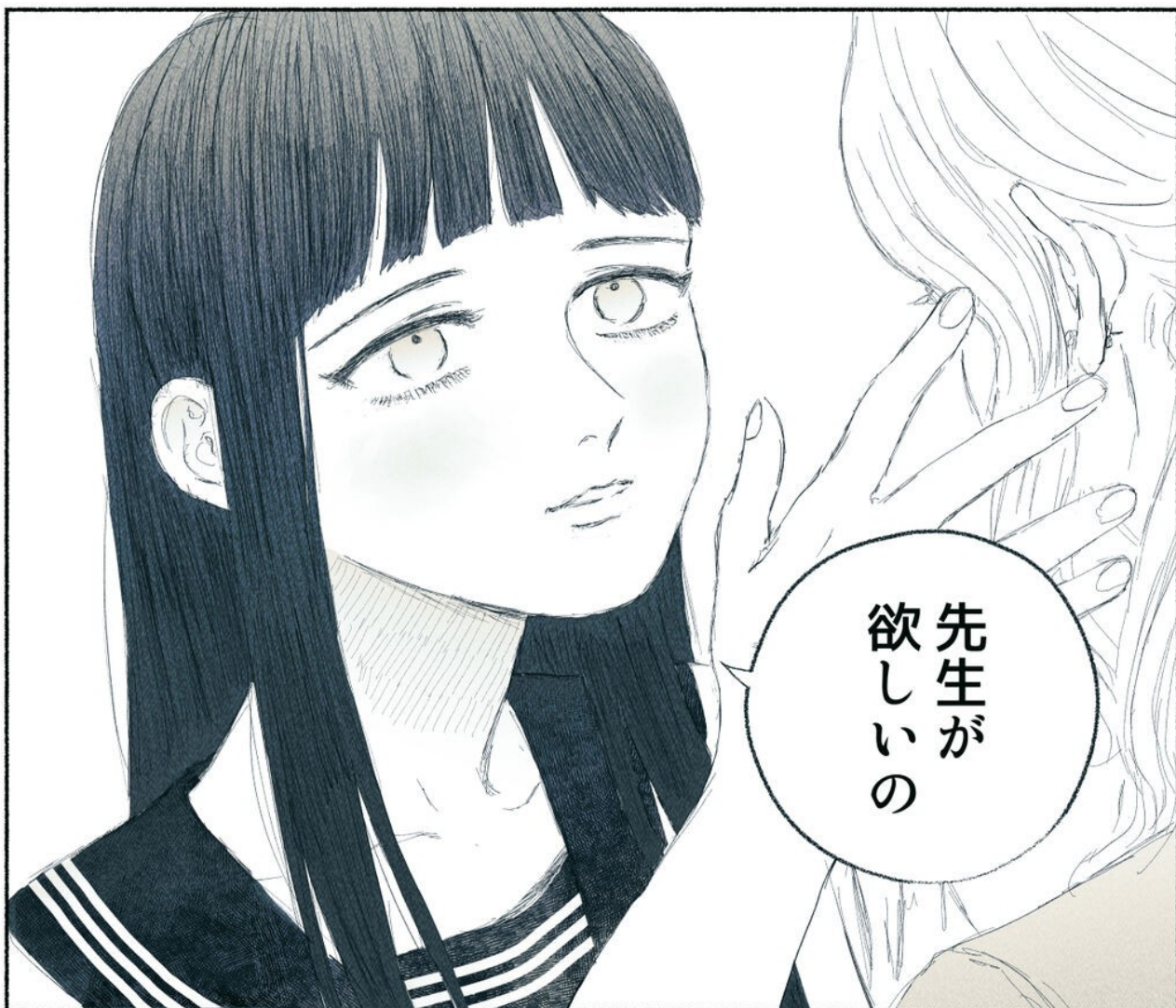


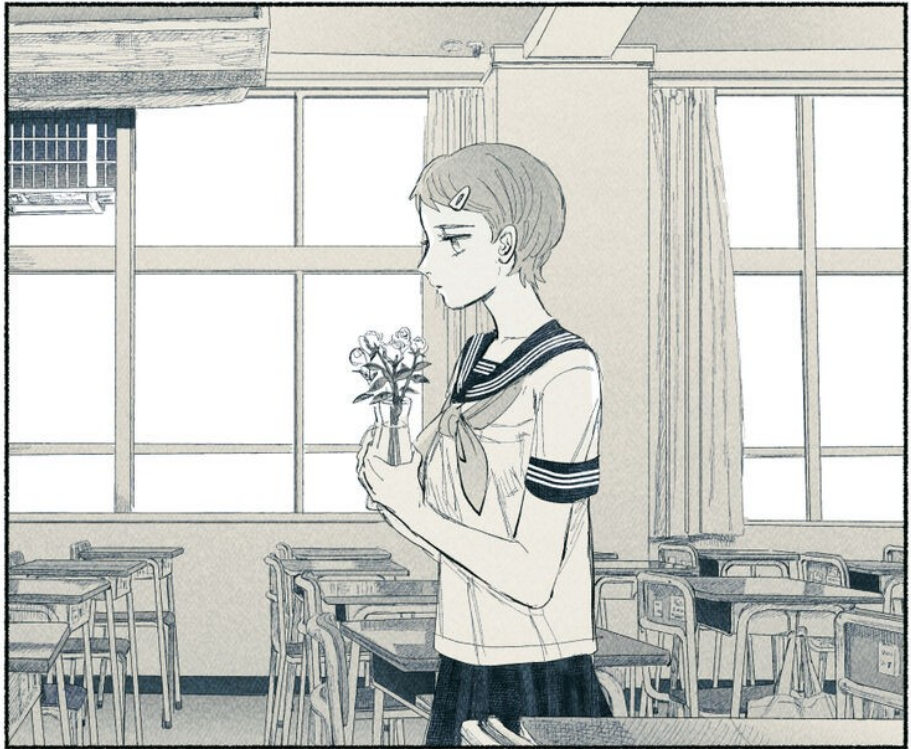
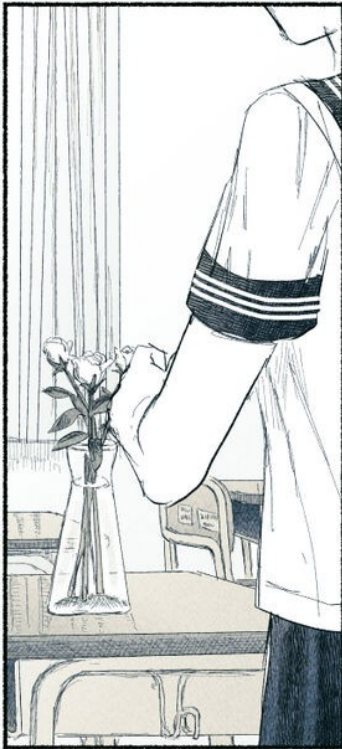




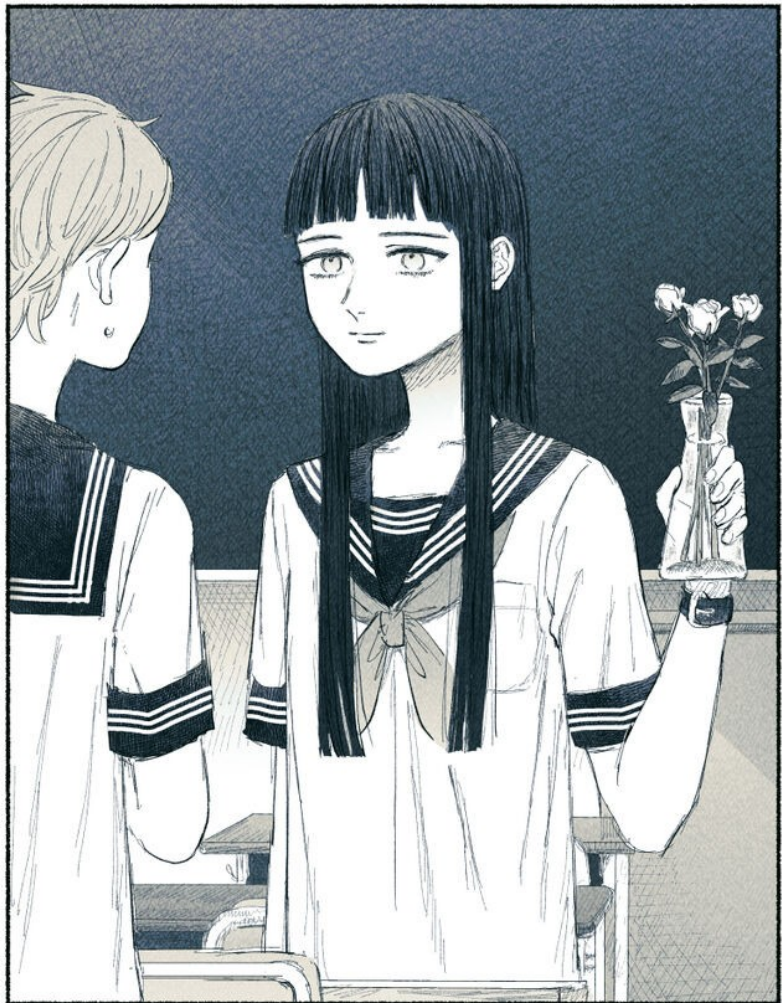


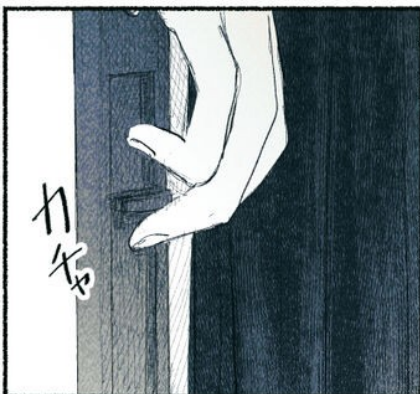
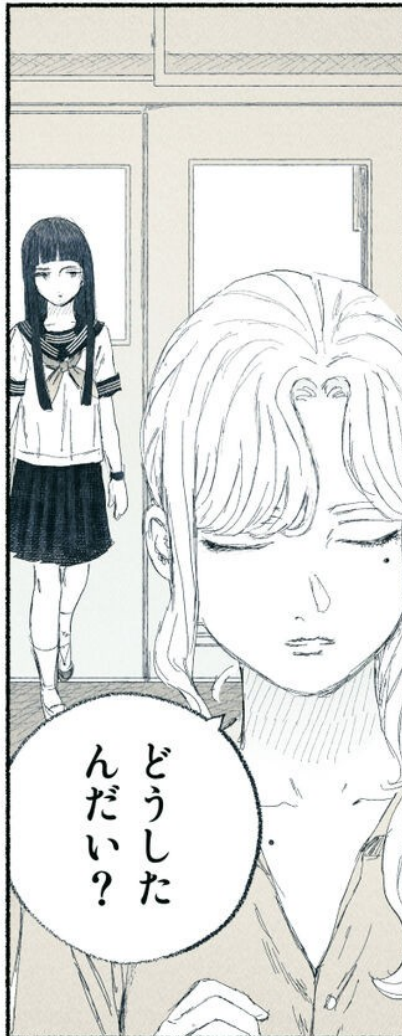
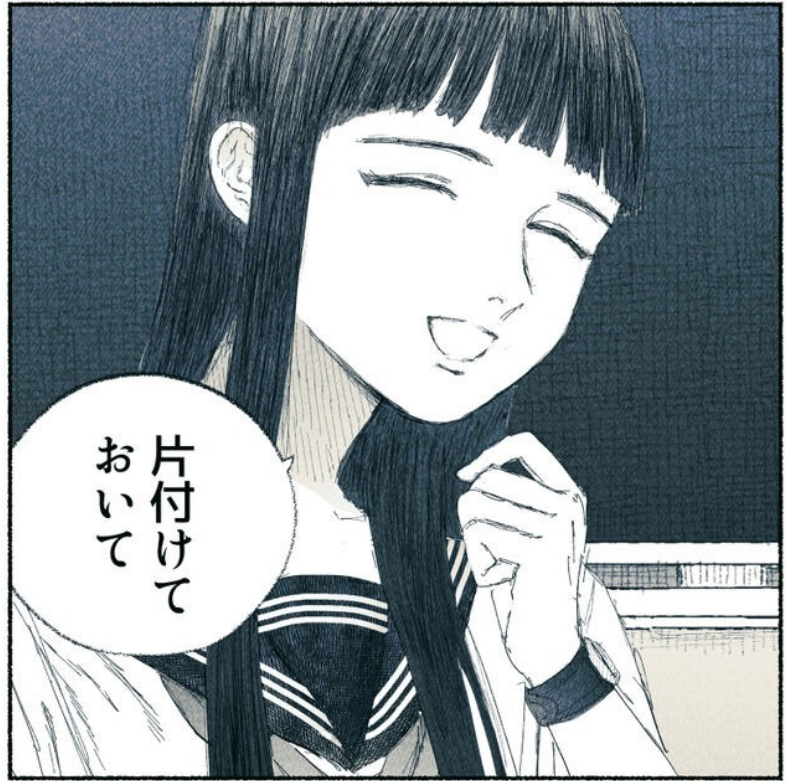


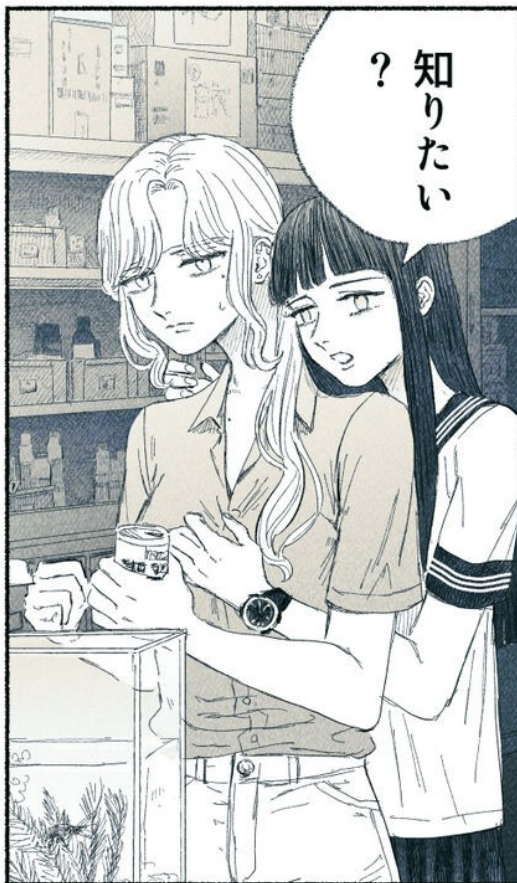
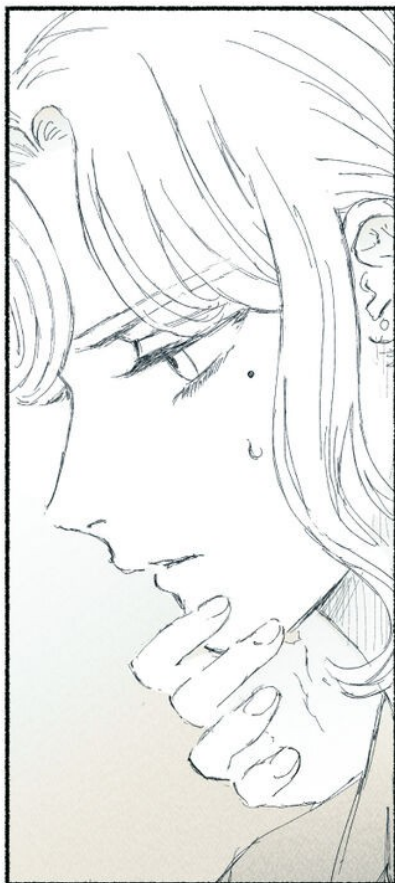


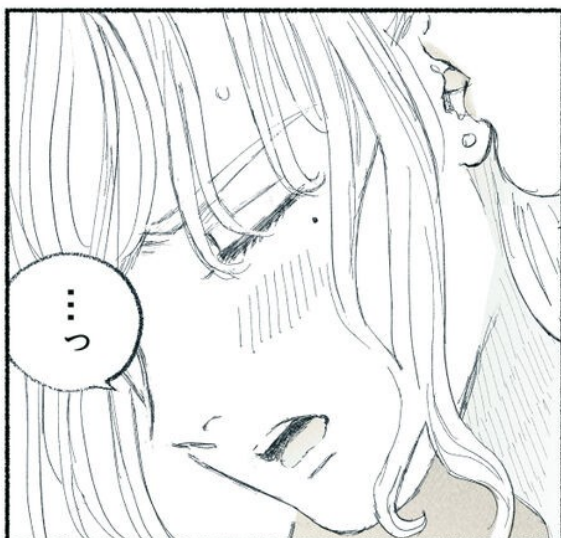


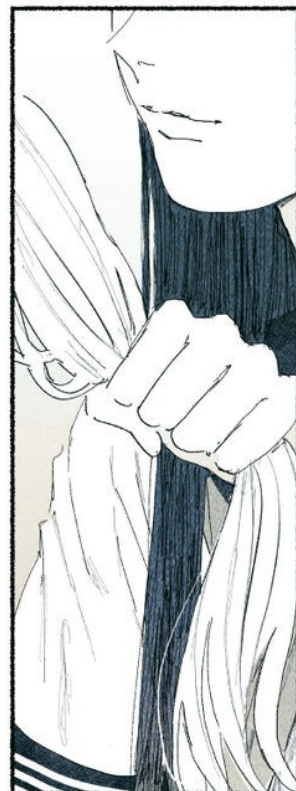
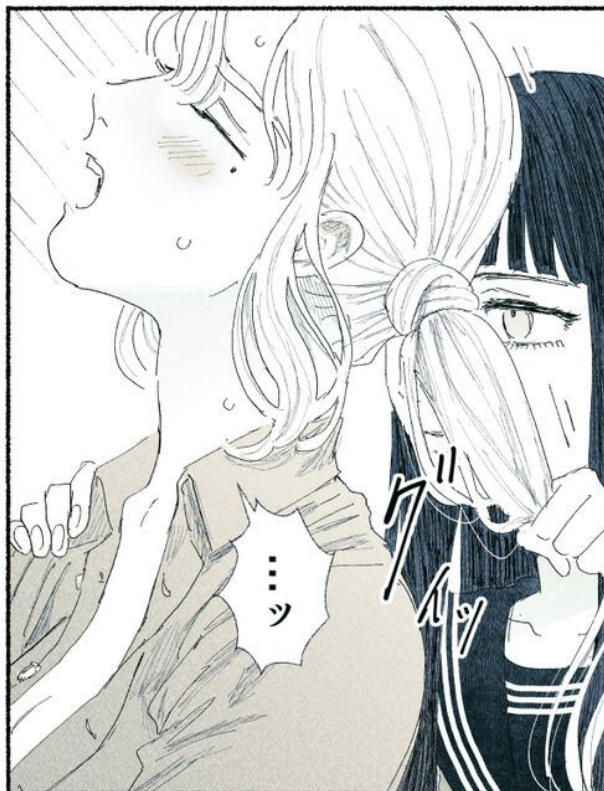
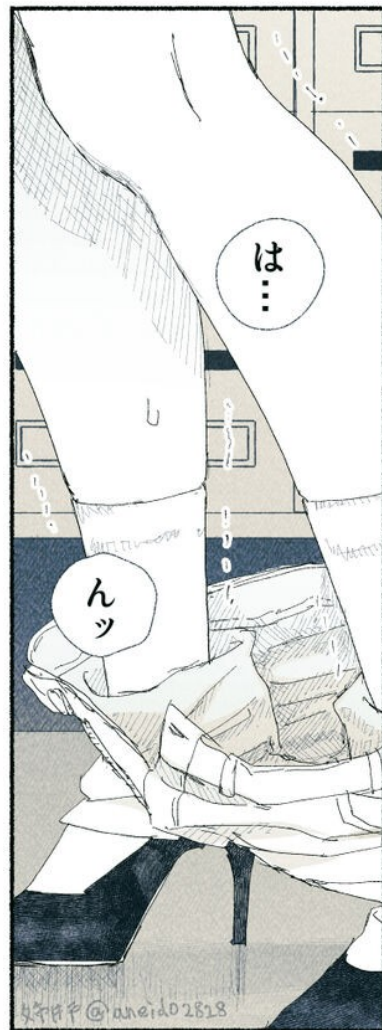


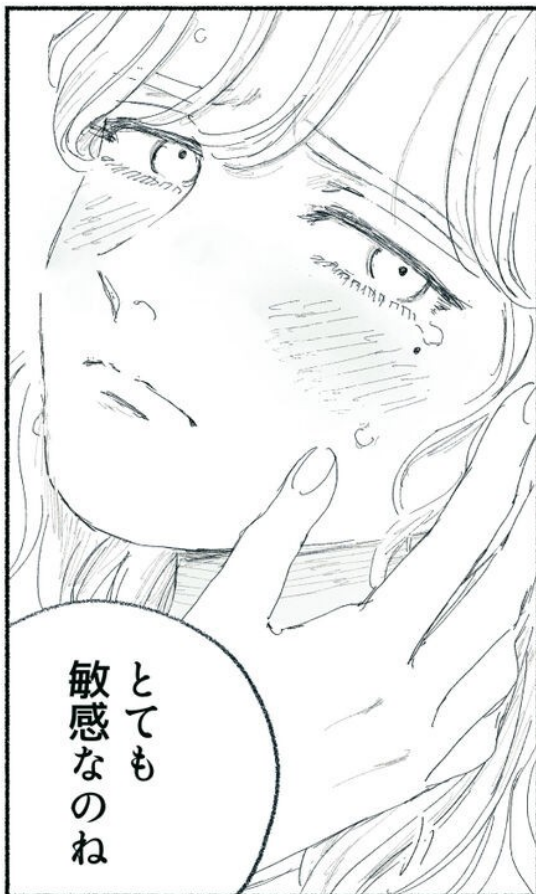


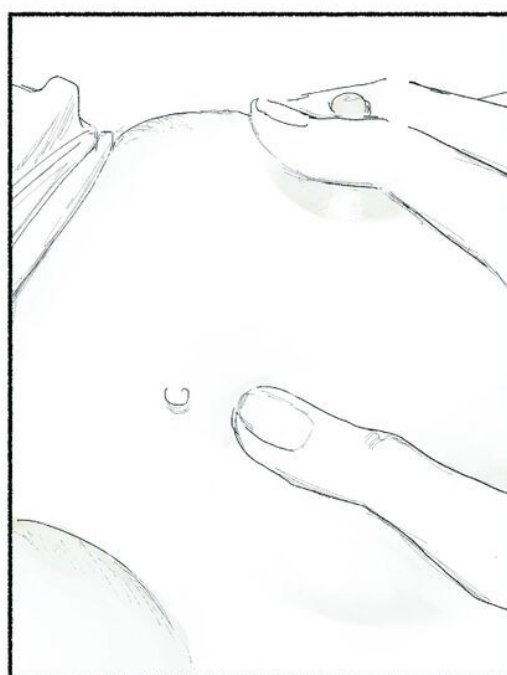


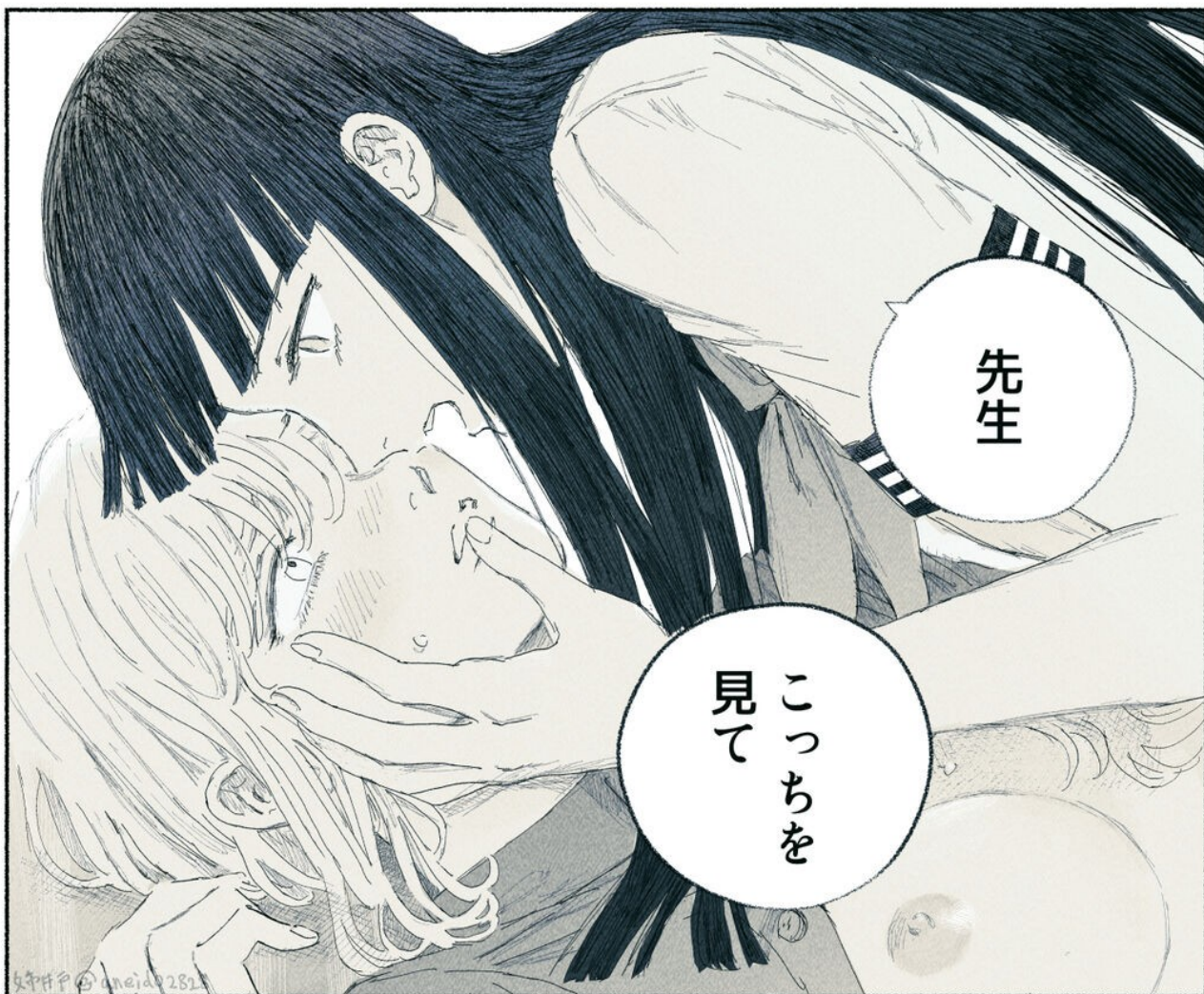


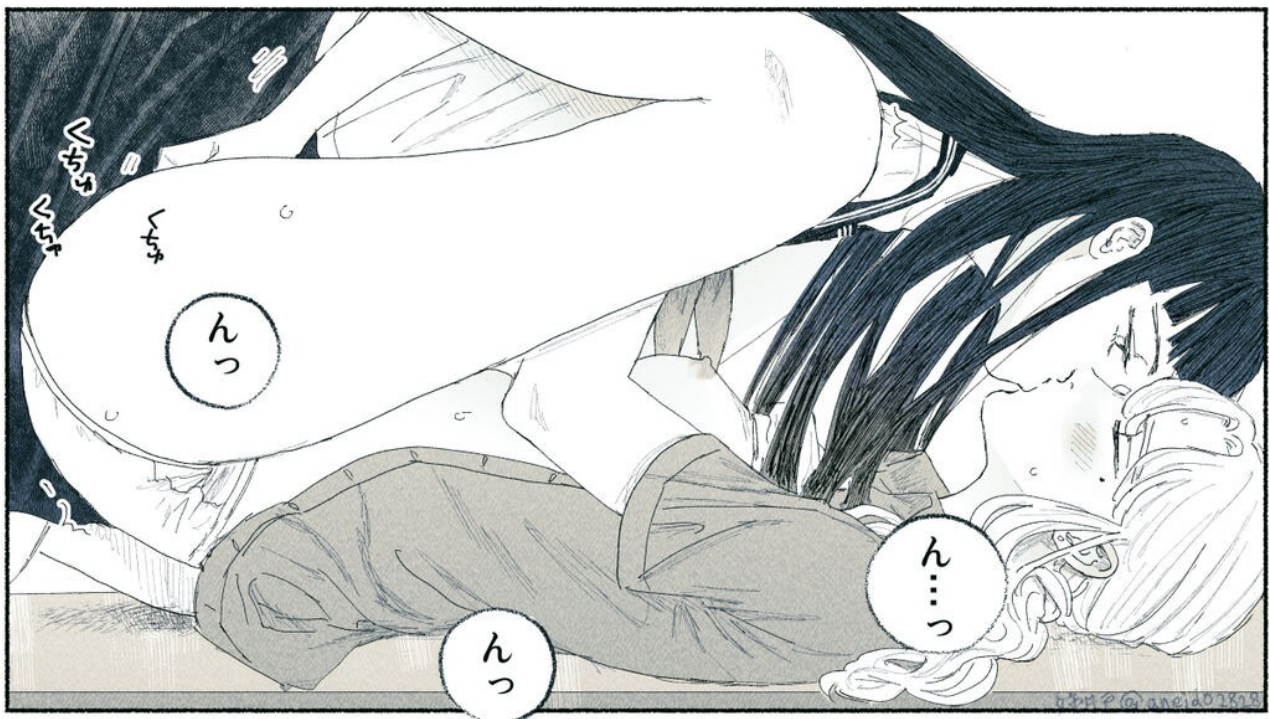


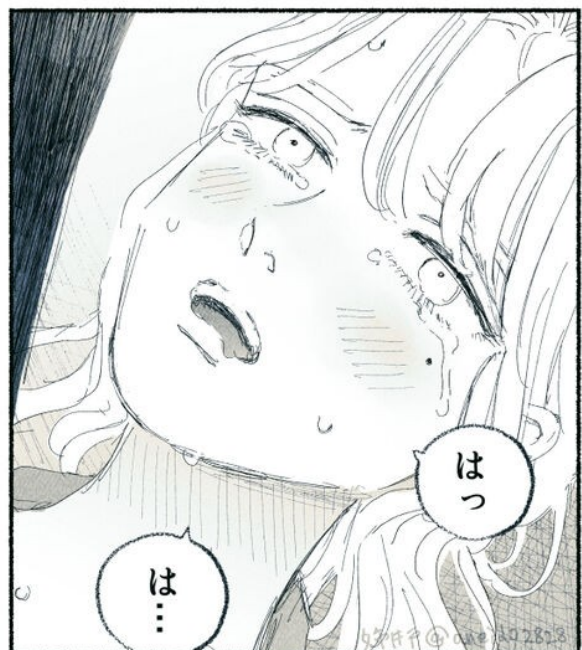


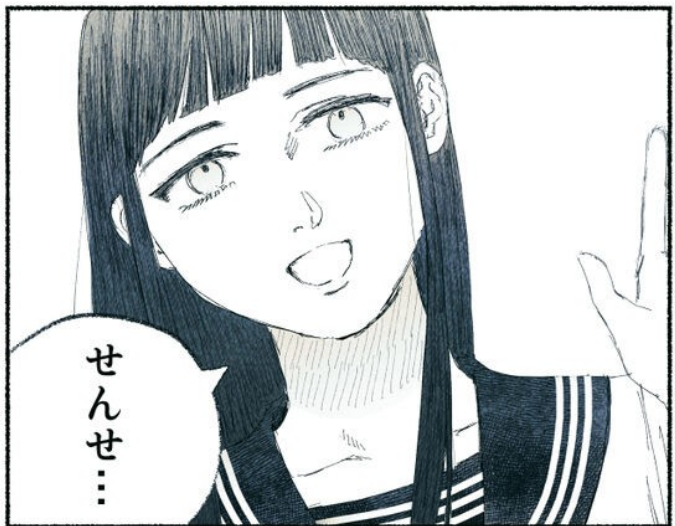


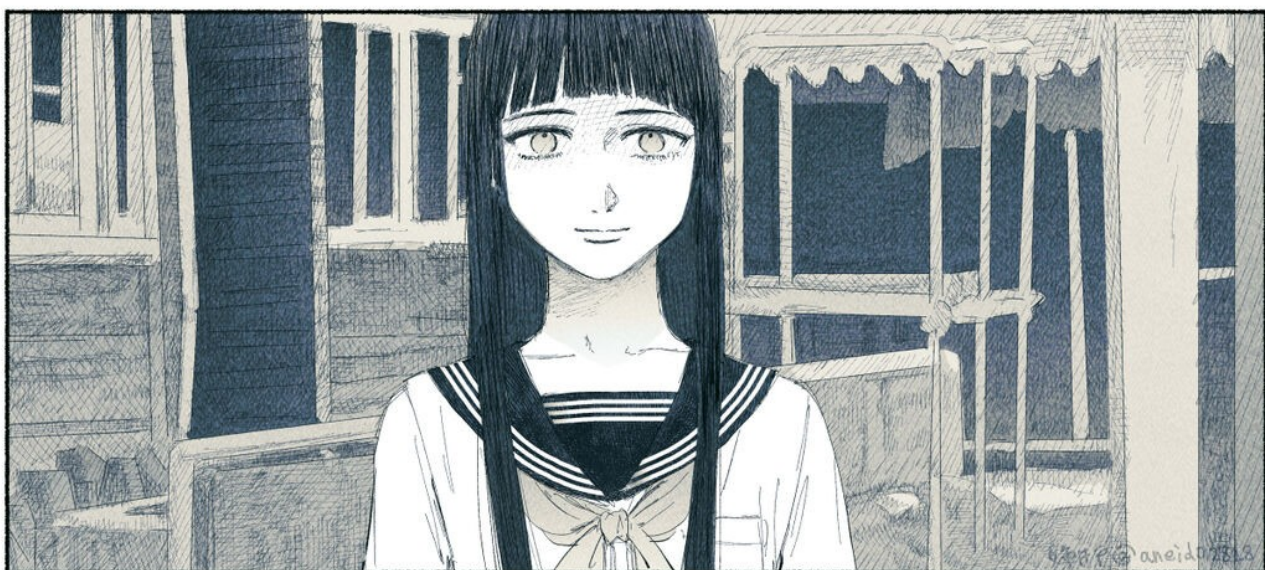














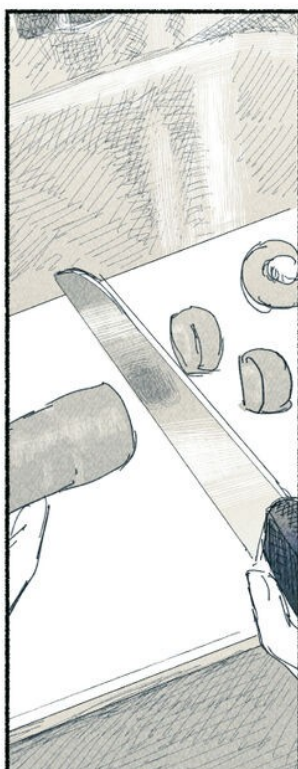
犬小屋
みたいに

かわいい
お部屋

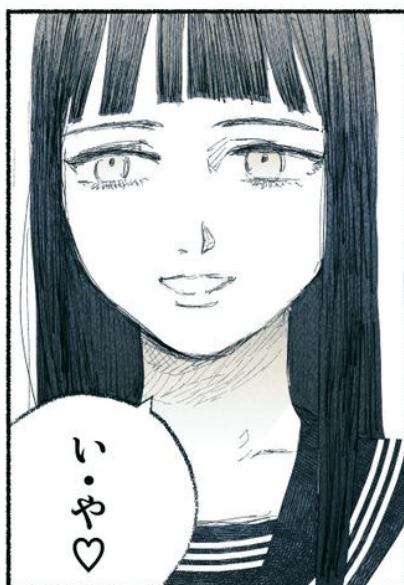


先生の
おうちに

来られる
なんて
幸せだわ

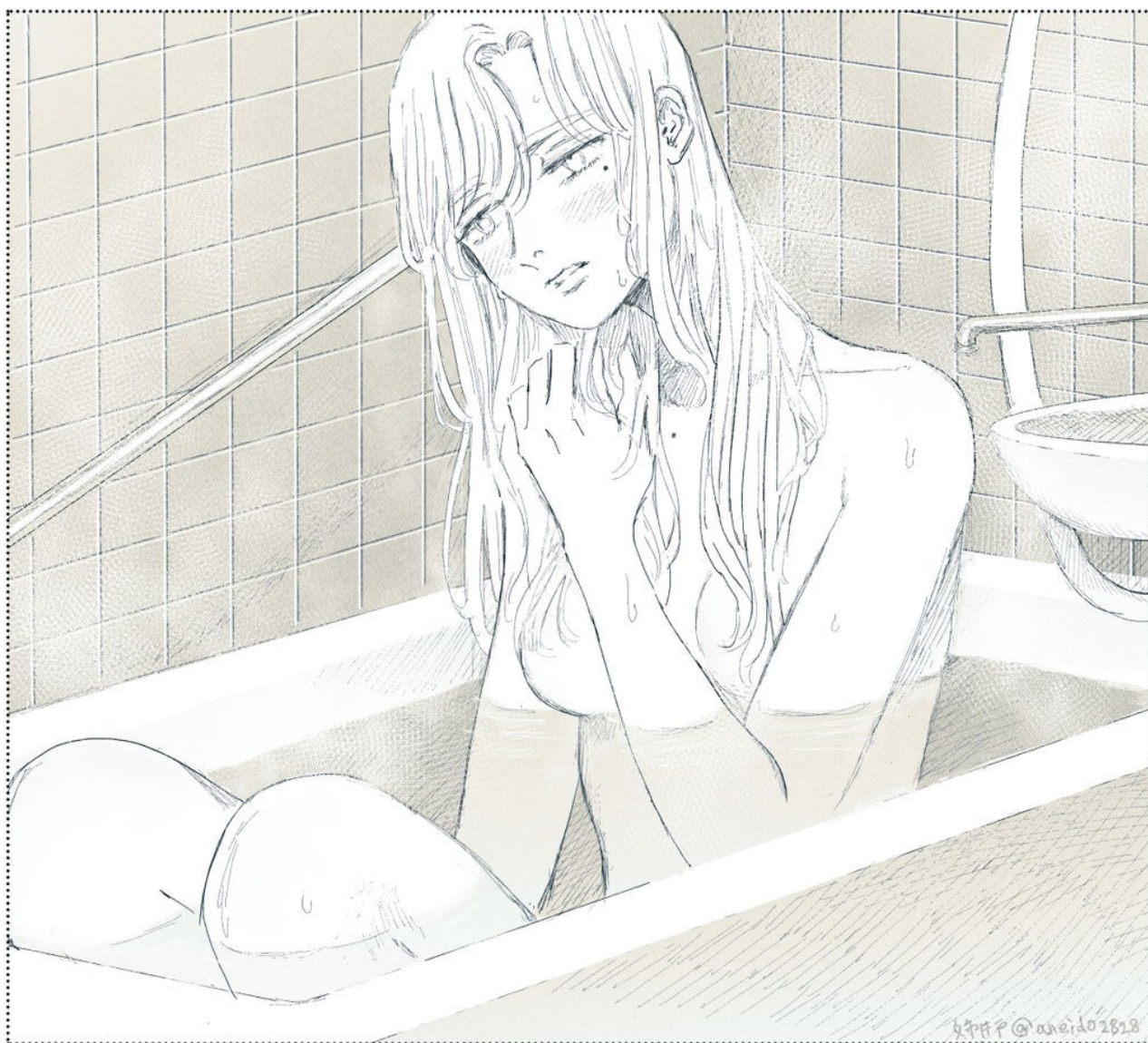
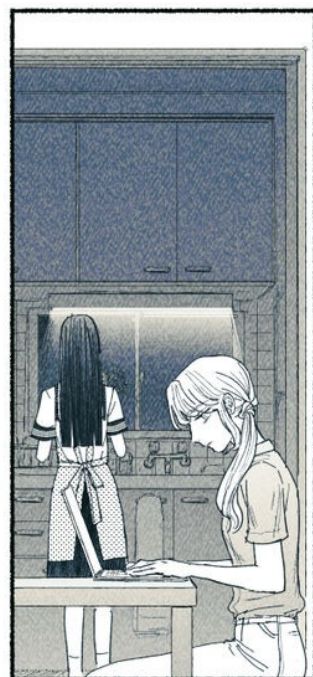


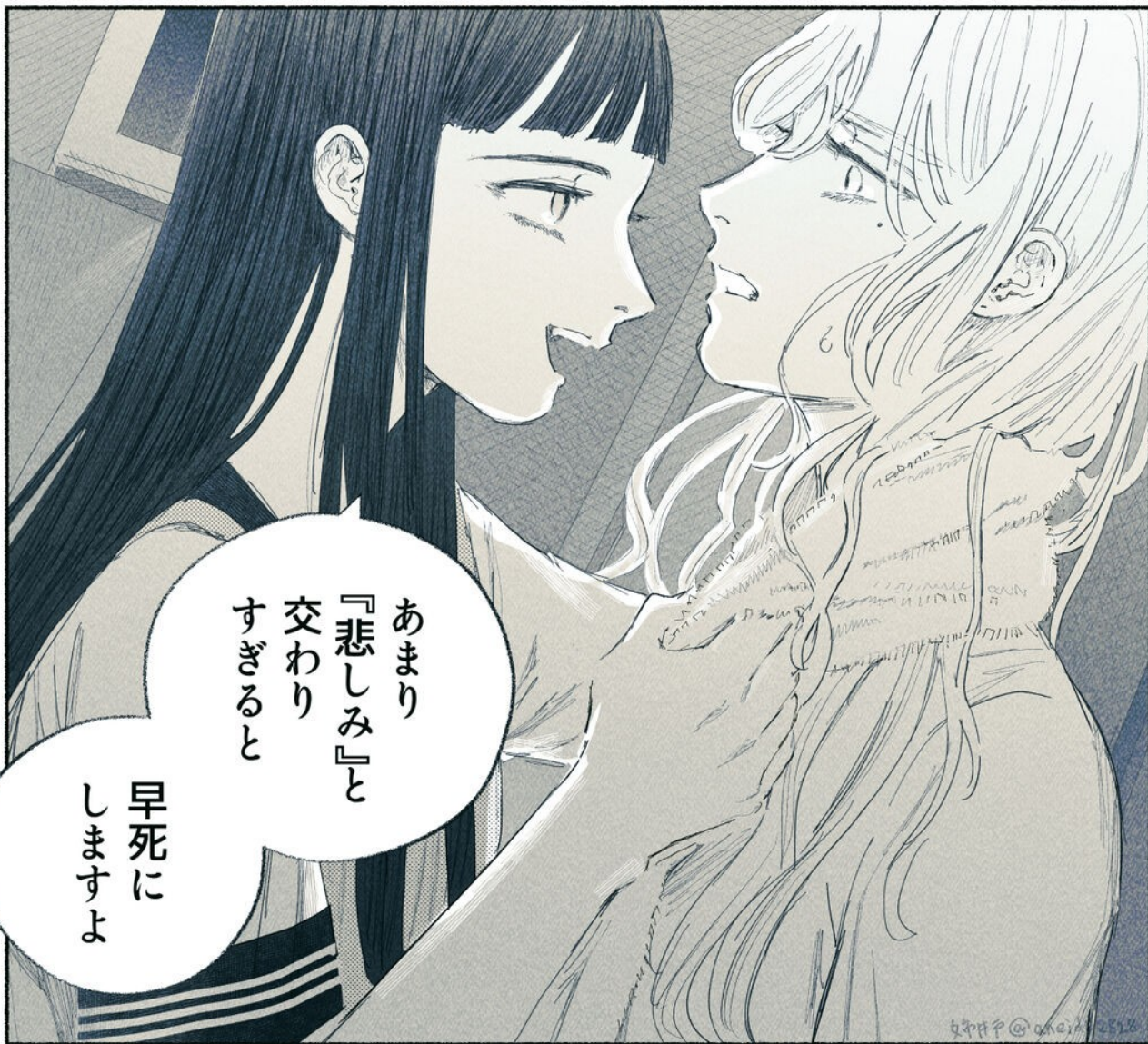
こ・や
♡

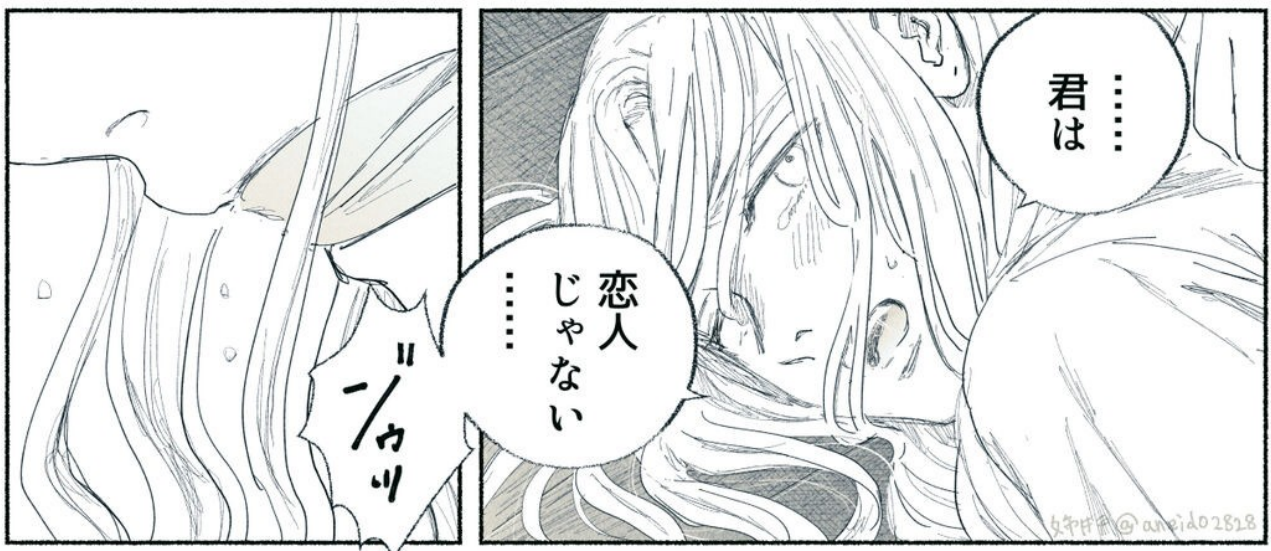


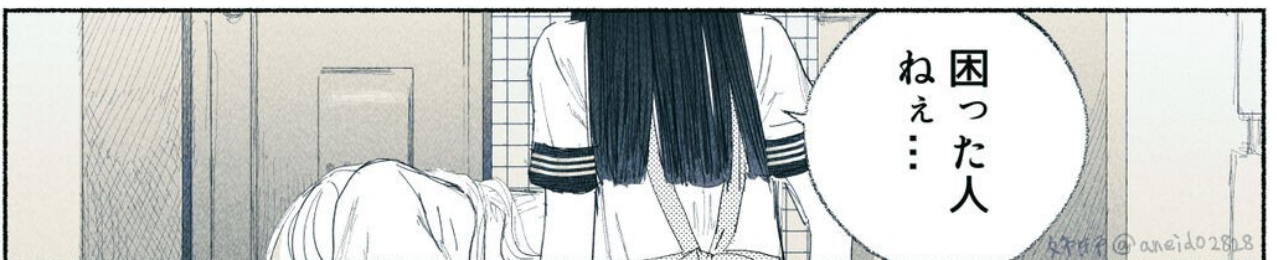
：帰って
くれて
構わないよ

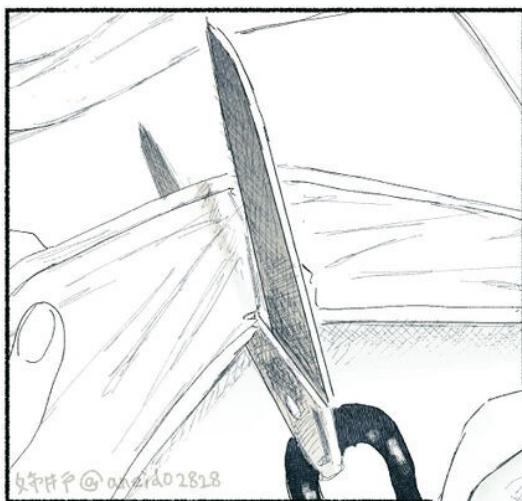
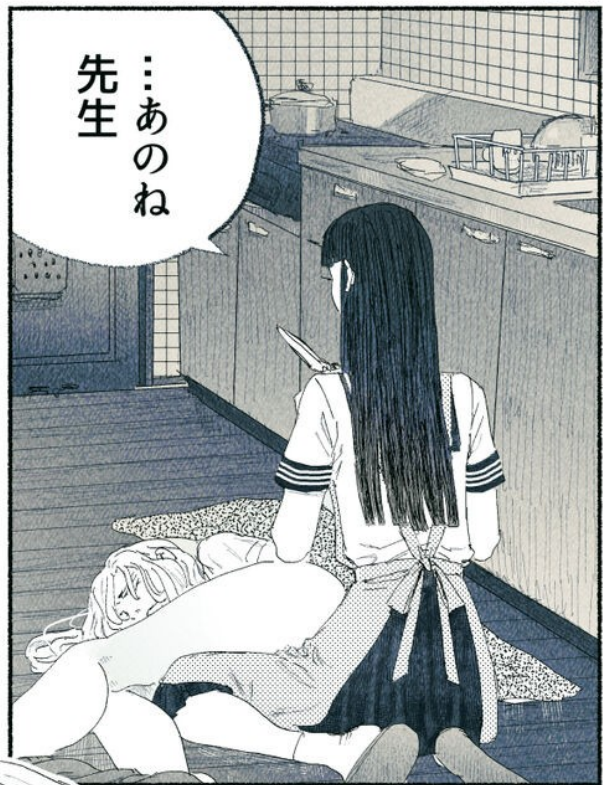


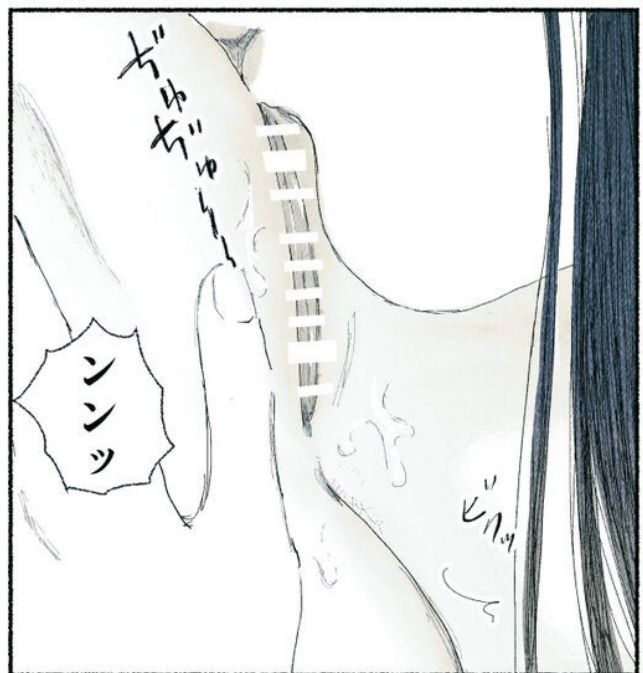
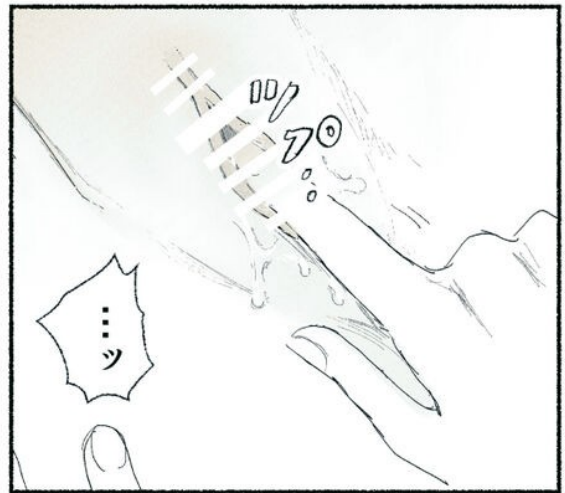
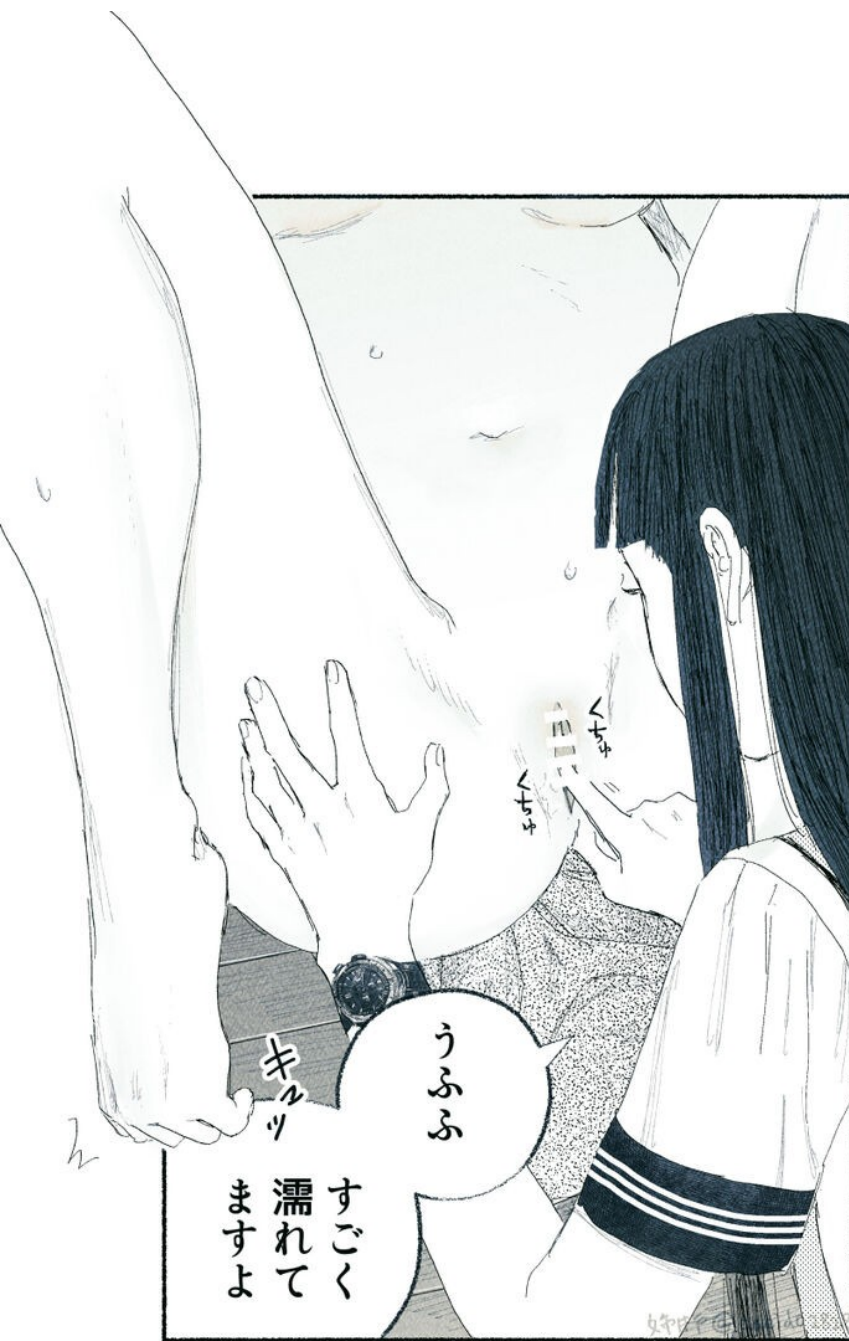


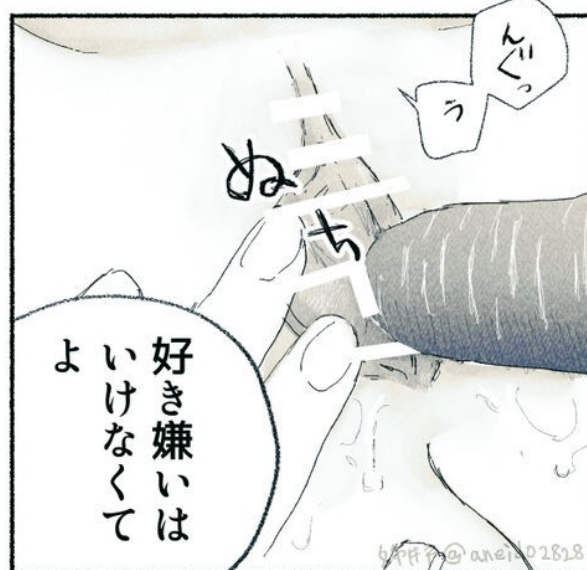
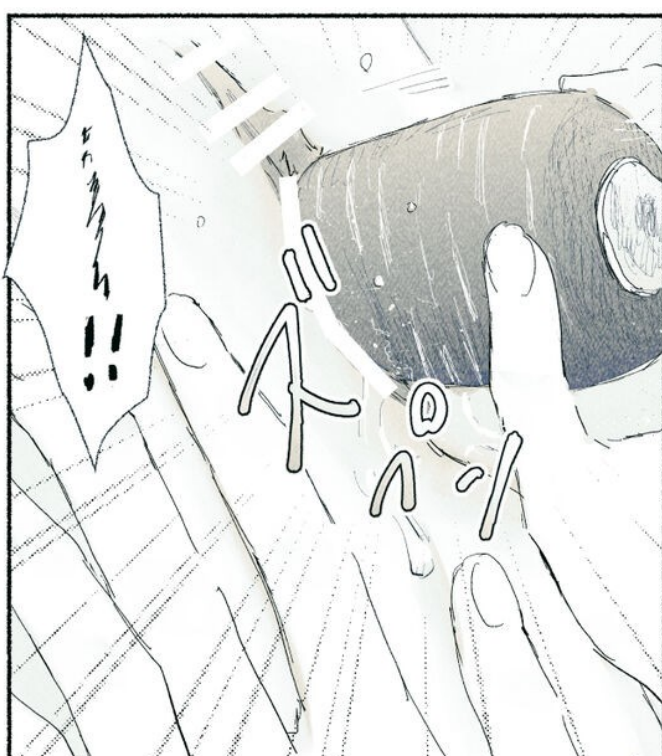
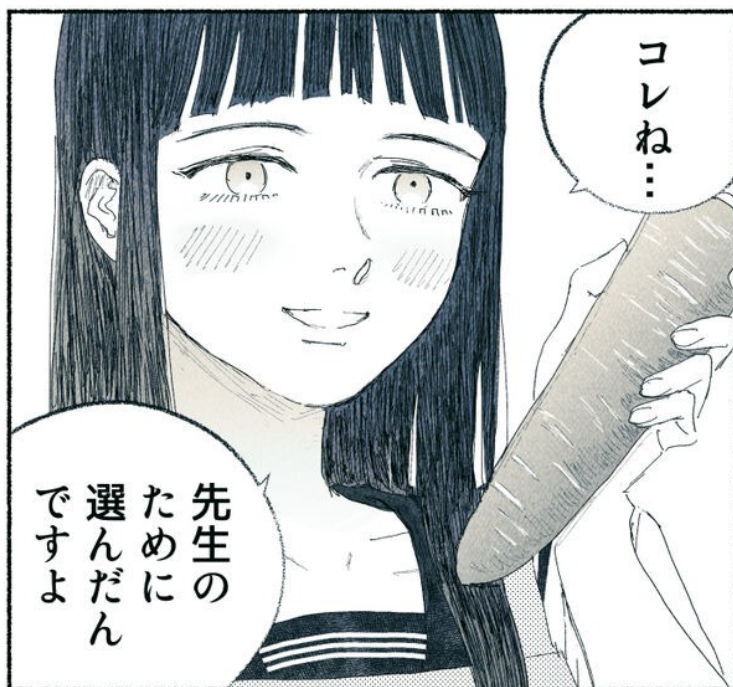


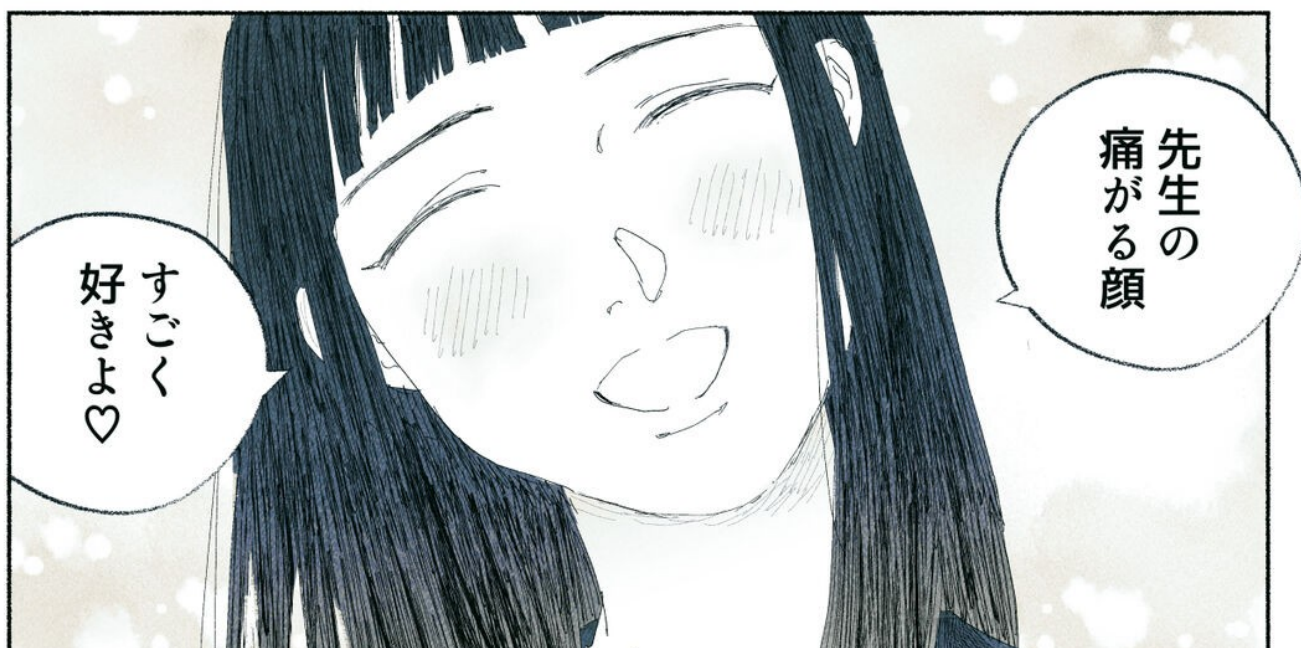
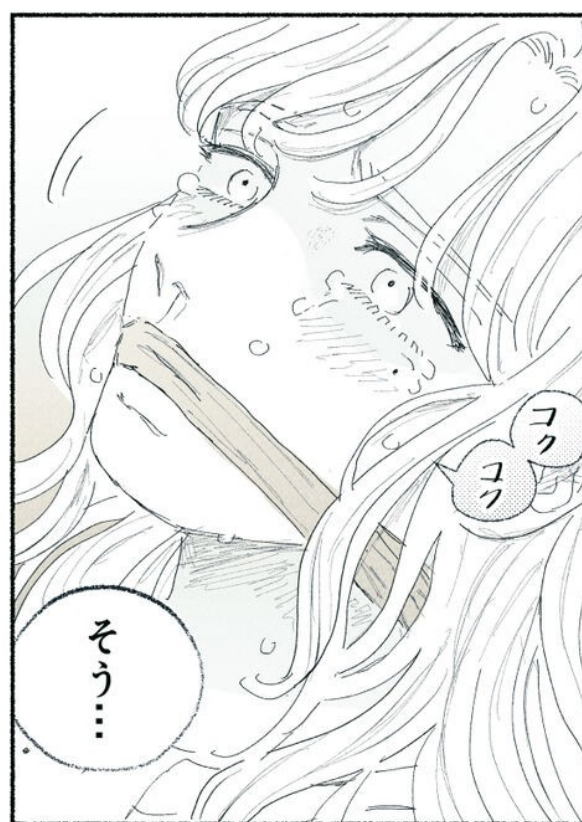


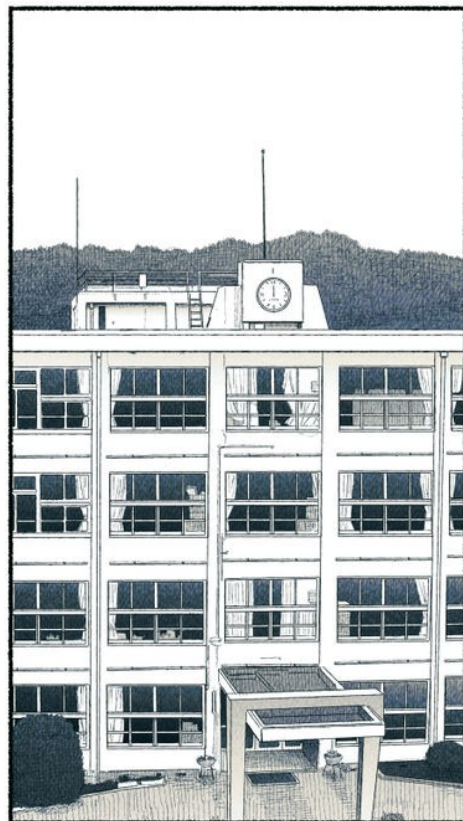


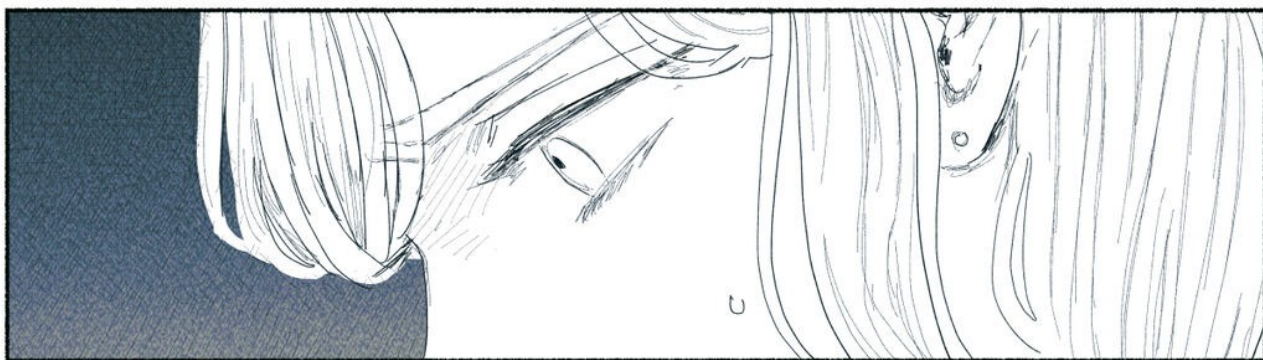
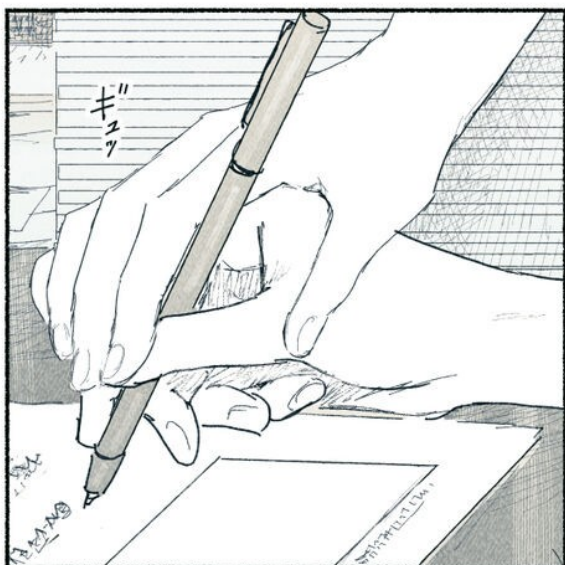














まるで
発情した猫
みたい
でしたよ

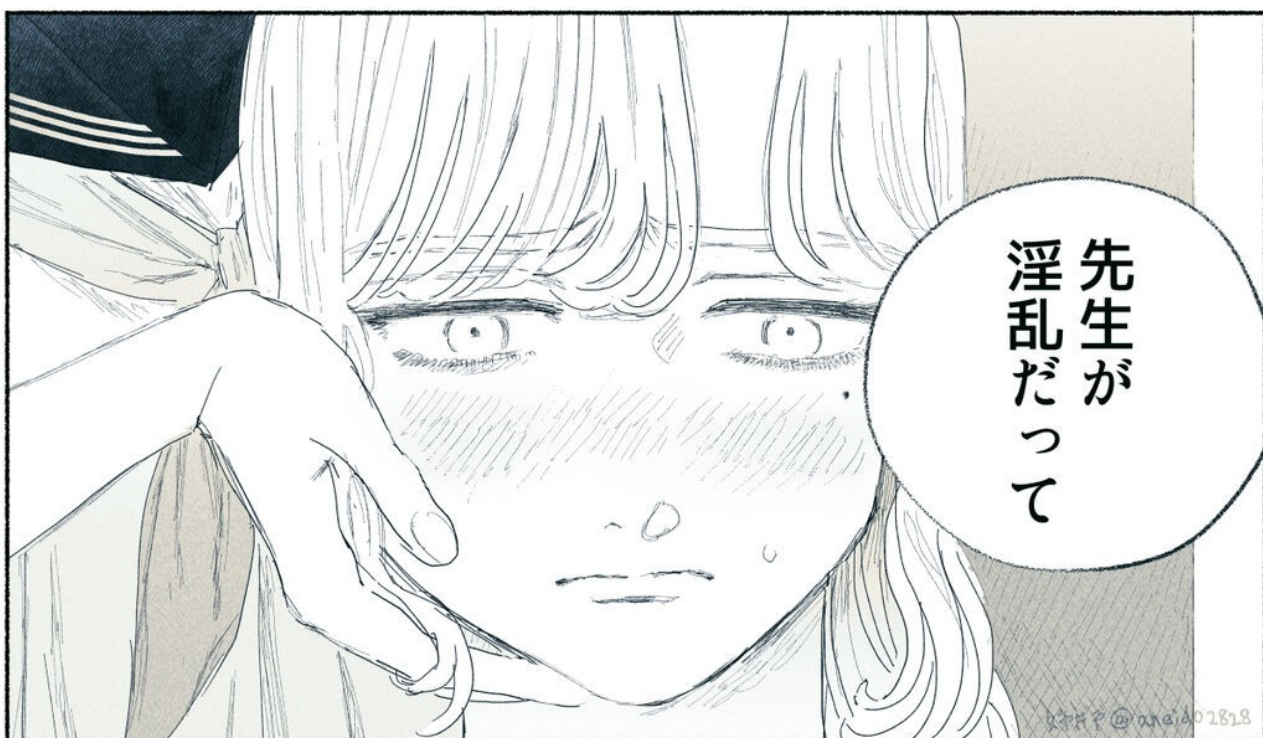


きっと
ご近所中
にばれて
しまったわ



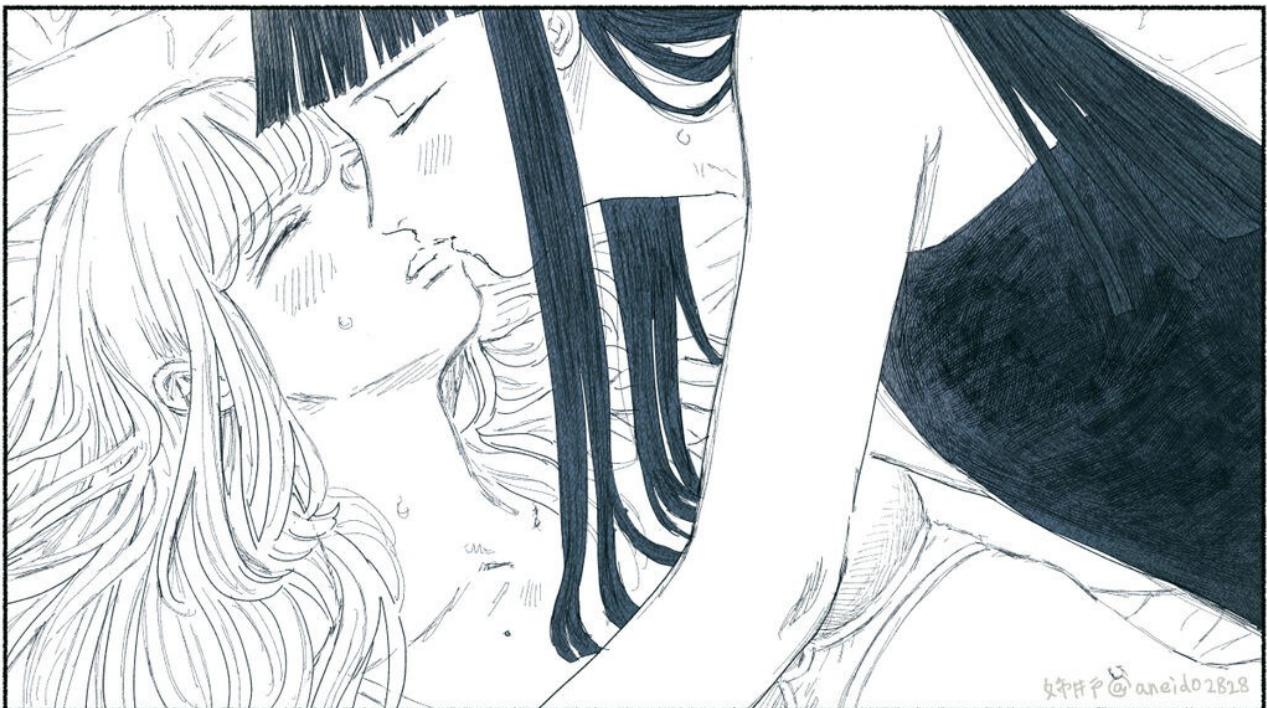
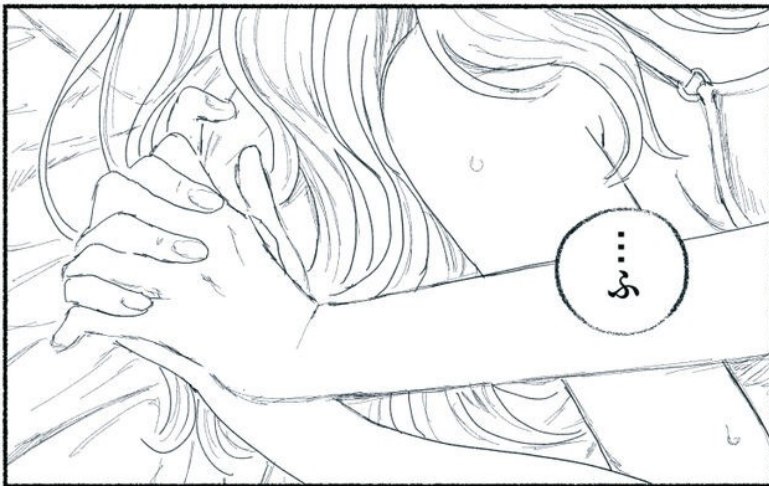
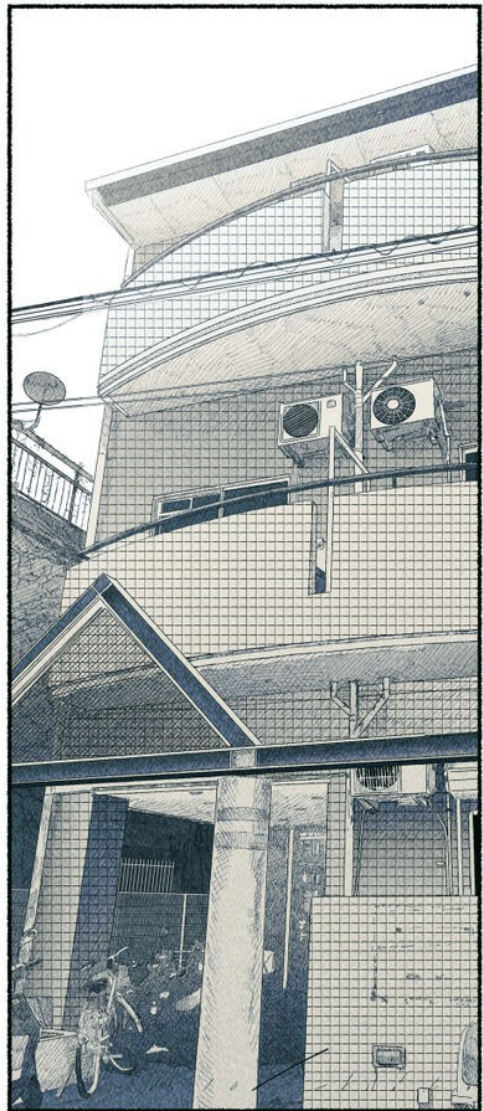
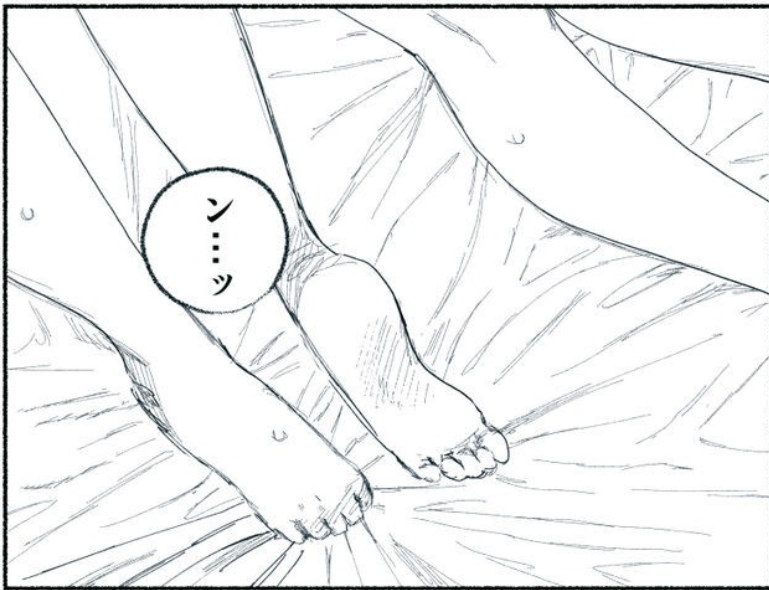
先生が
あんなに

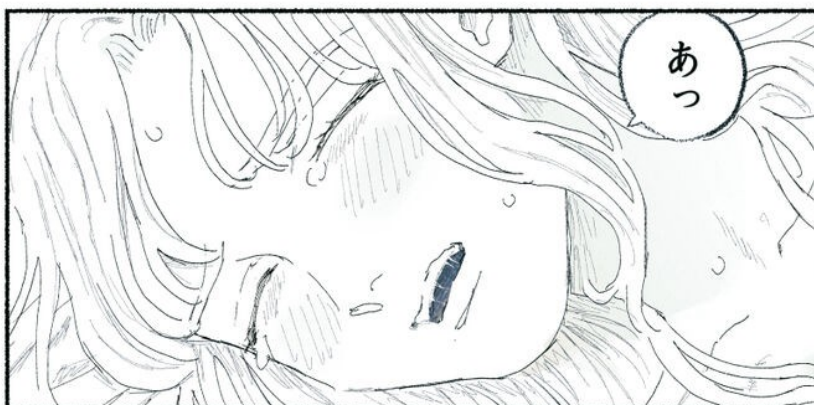
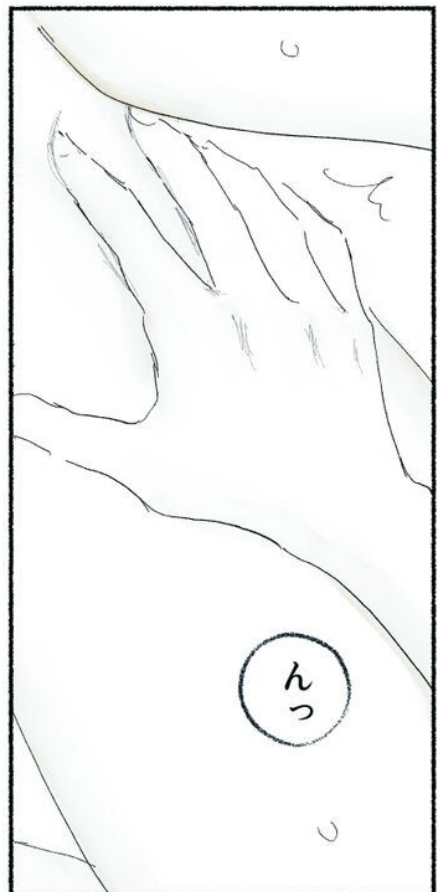
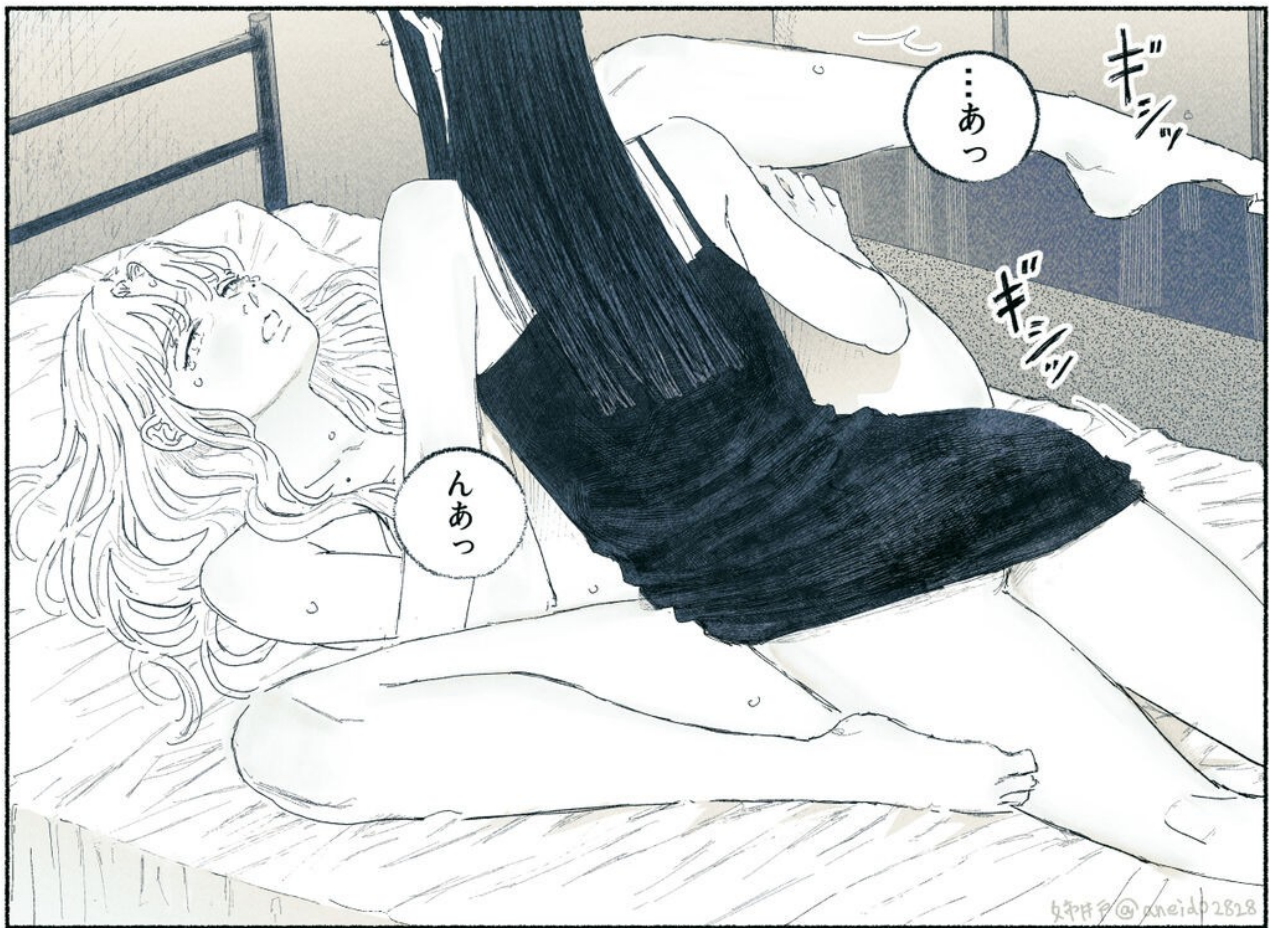
愛らしい
声で鳴く
なんて

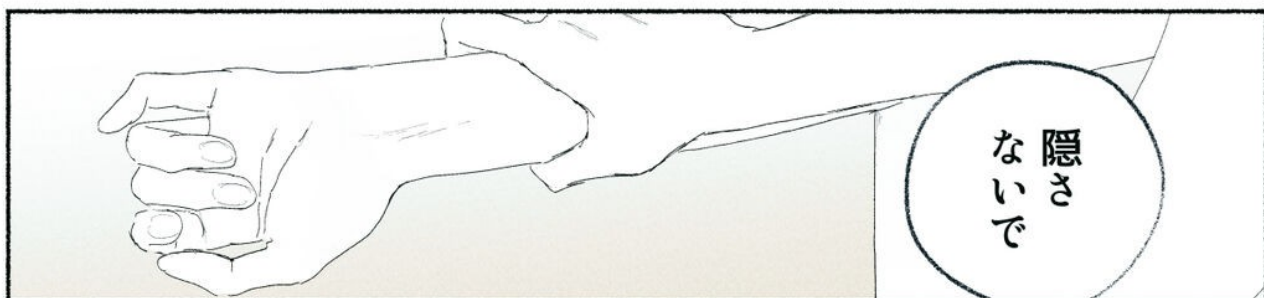
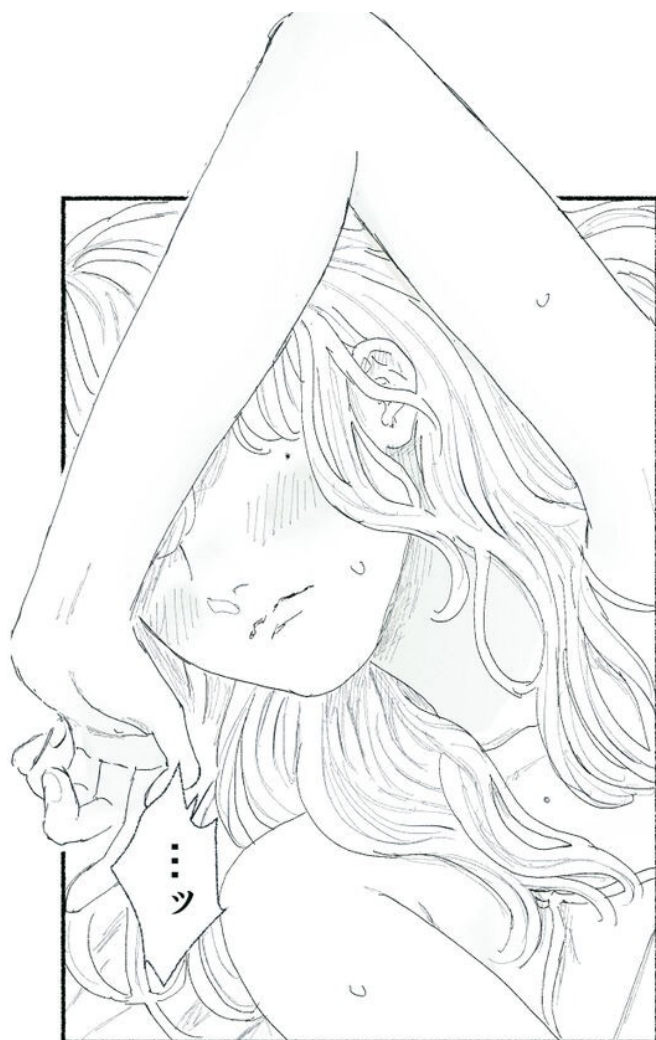


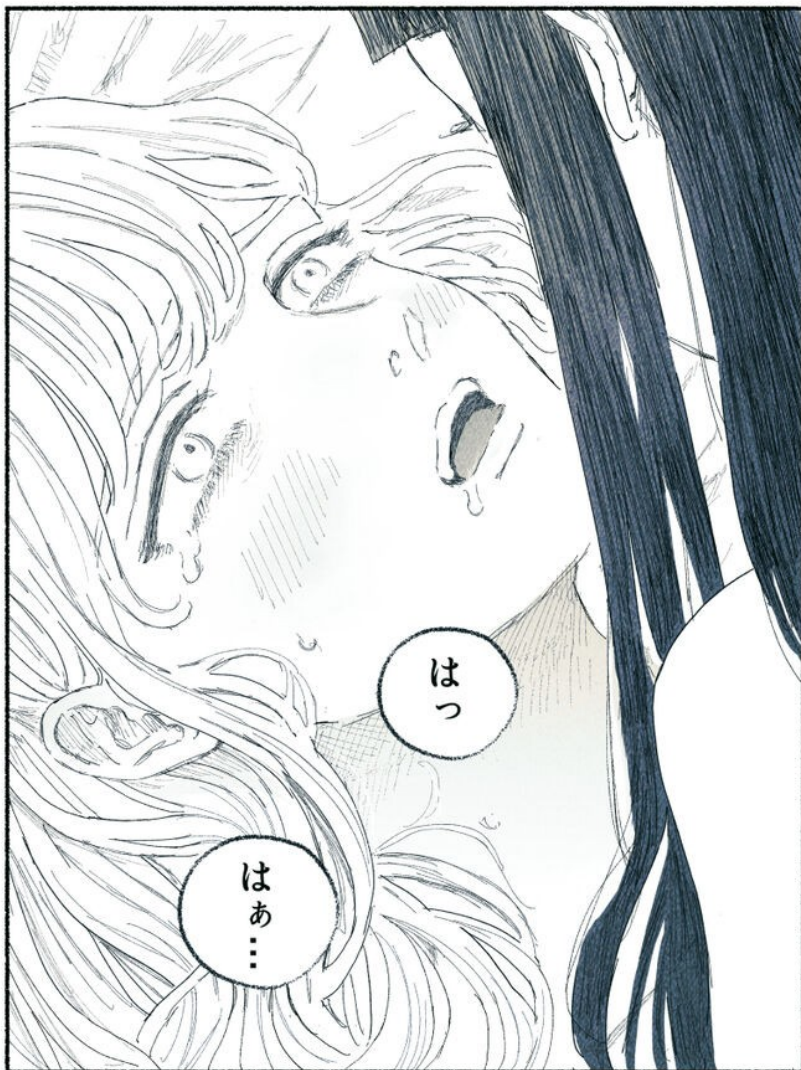
先生が
淫乱だっ
て

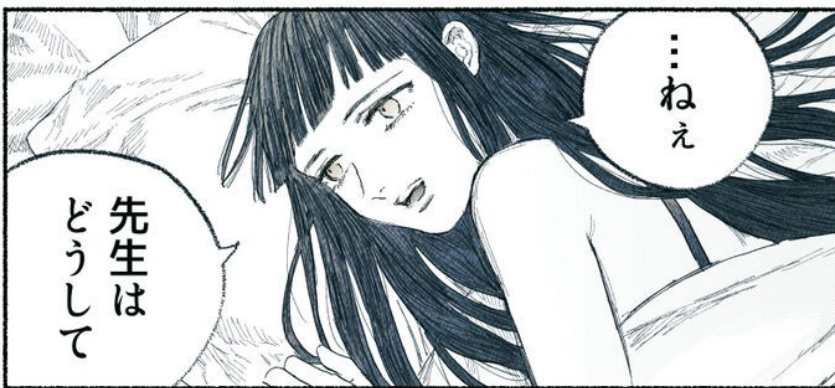
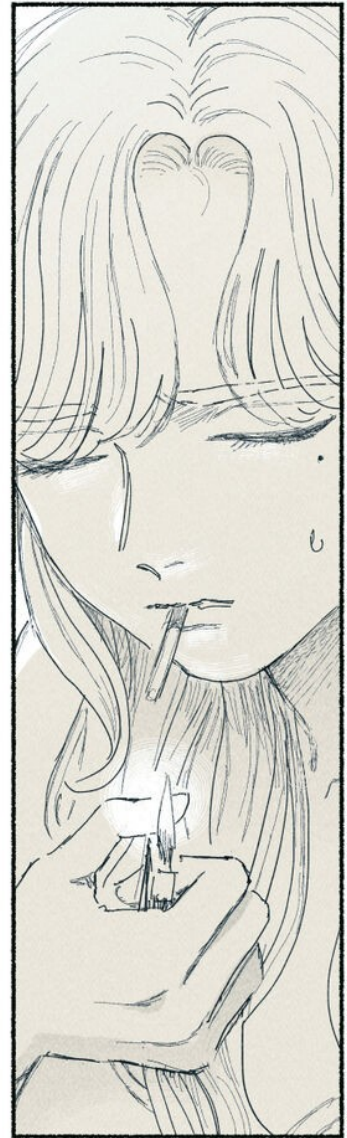
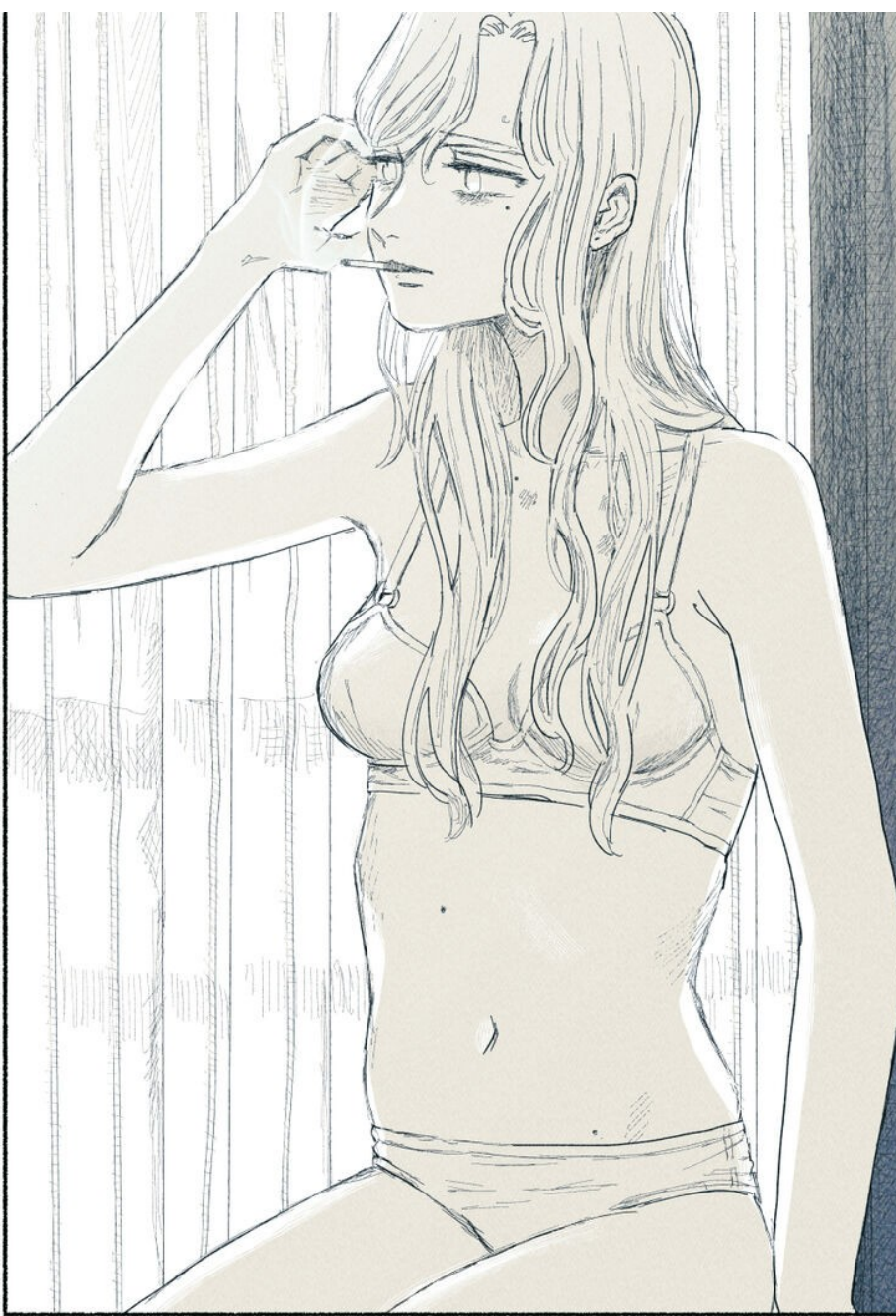






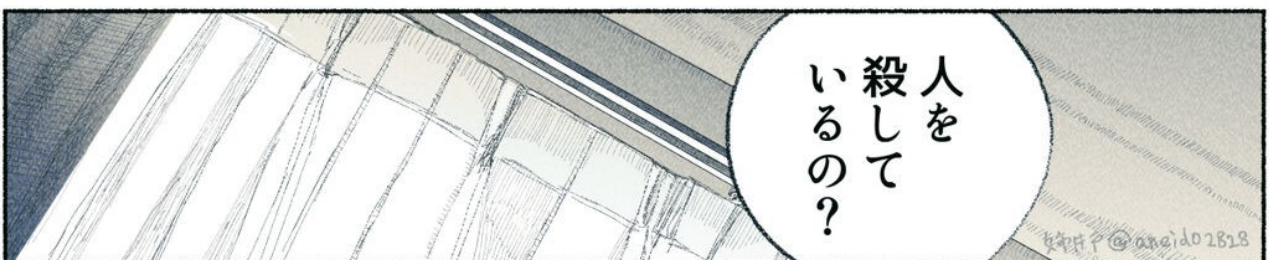




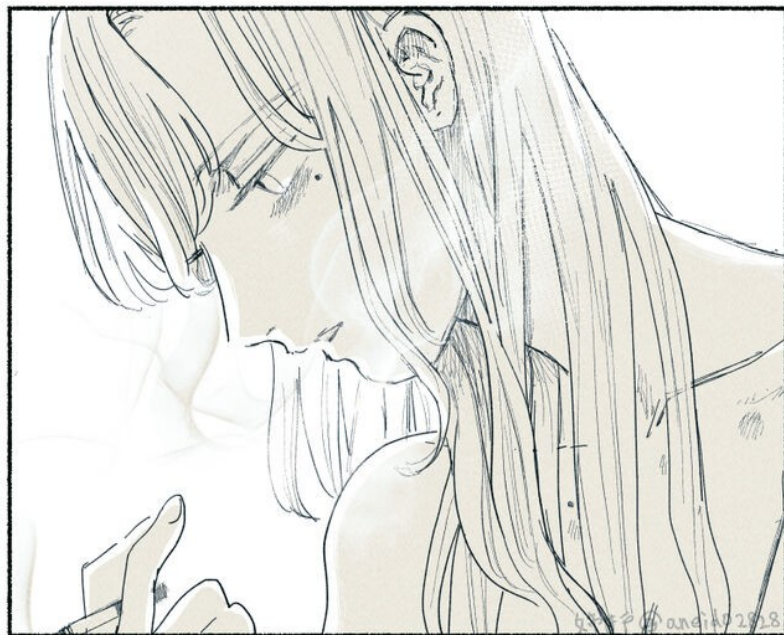


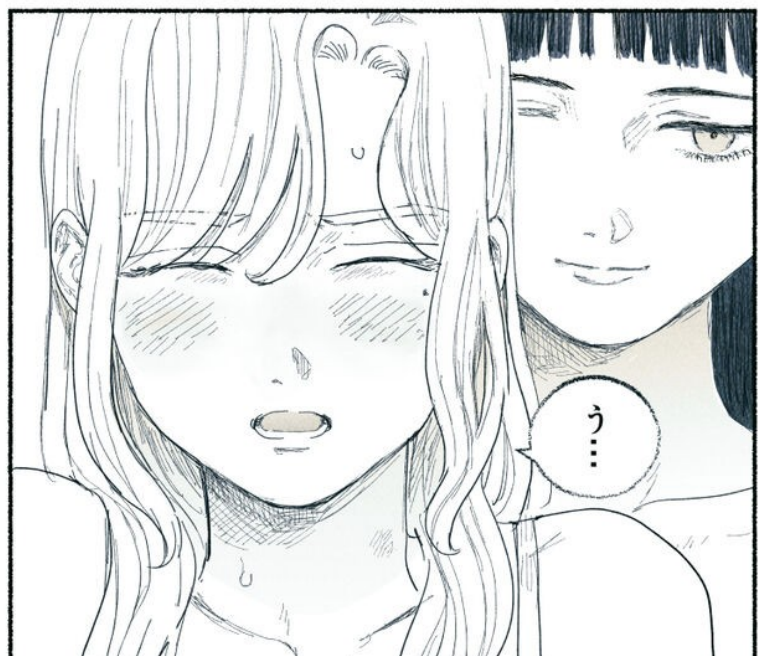
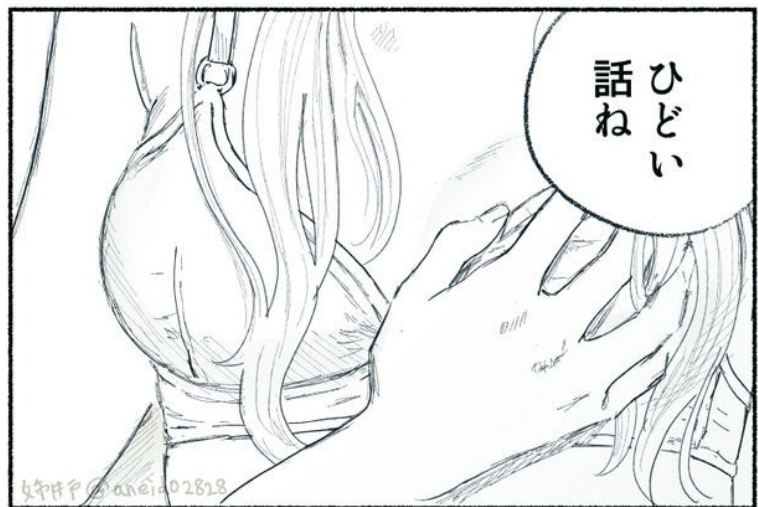
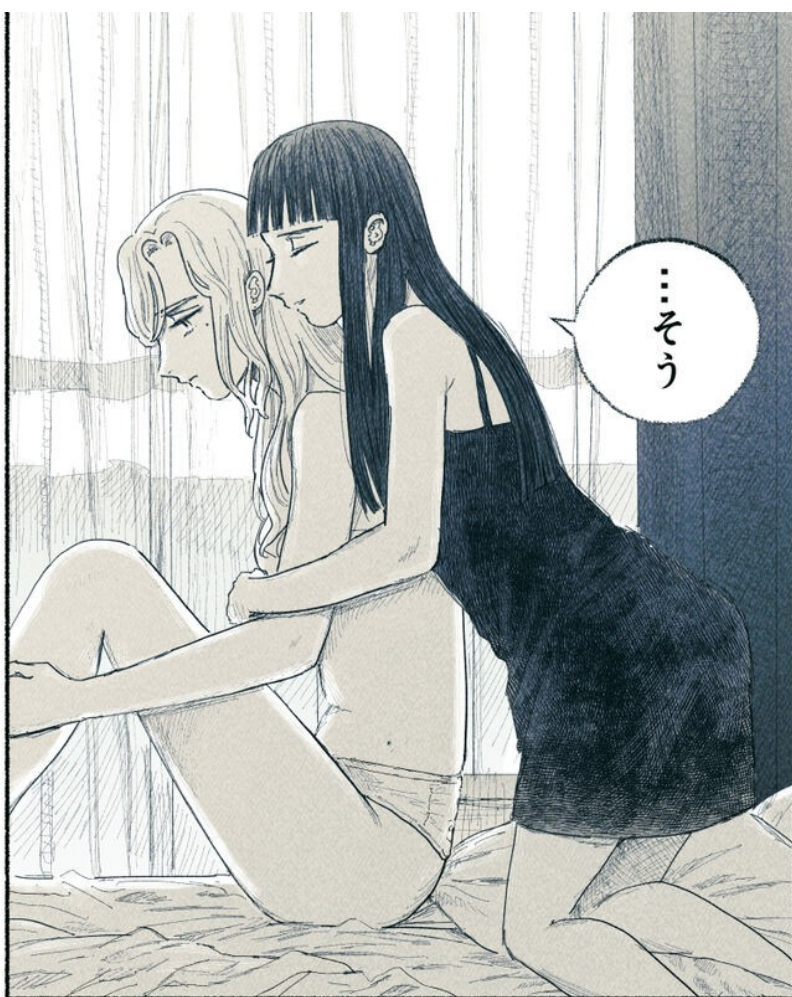
…ねえ

先生は
どうして



人を
殺して
いるの？







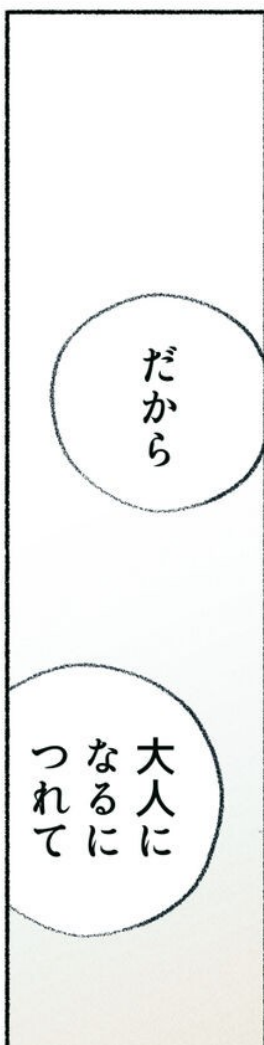
いらない
『感情』は
殺される



この
厳しい国
では

私たち
生徒の
うち

© 2018 角川書店



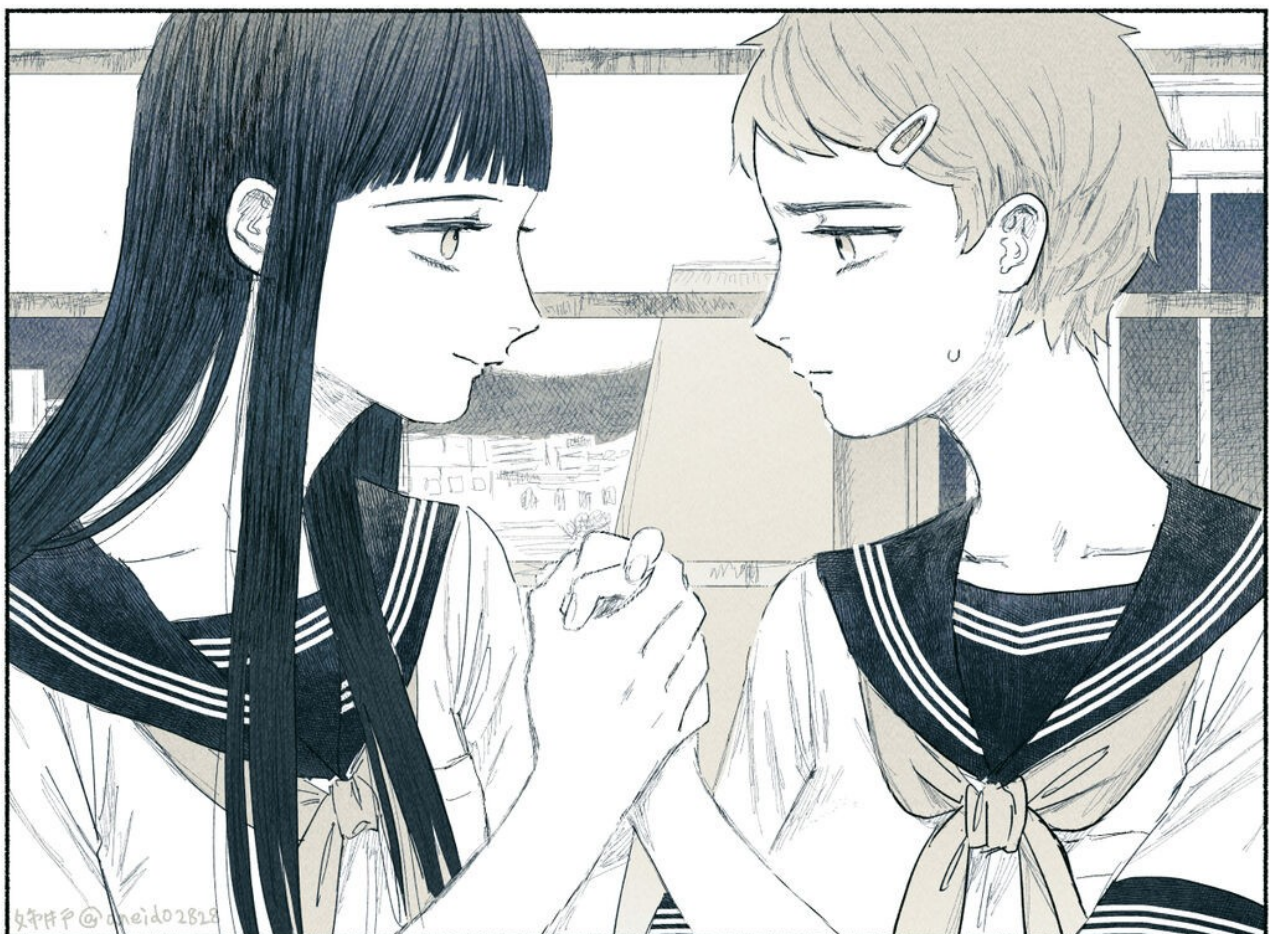
だから

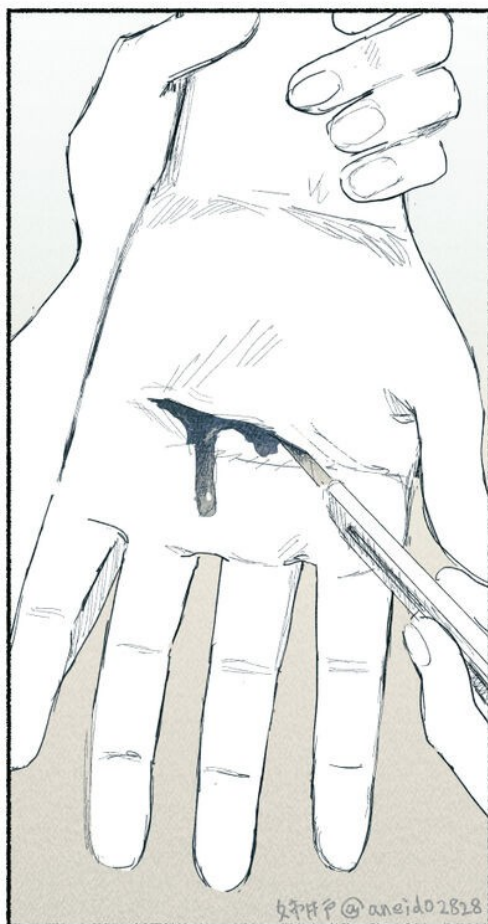
大人に
なるに
つれて

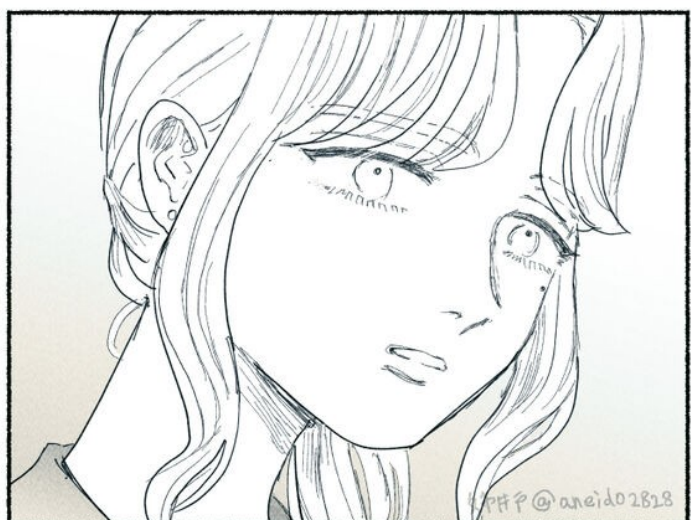
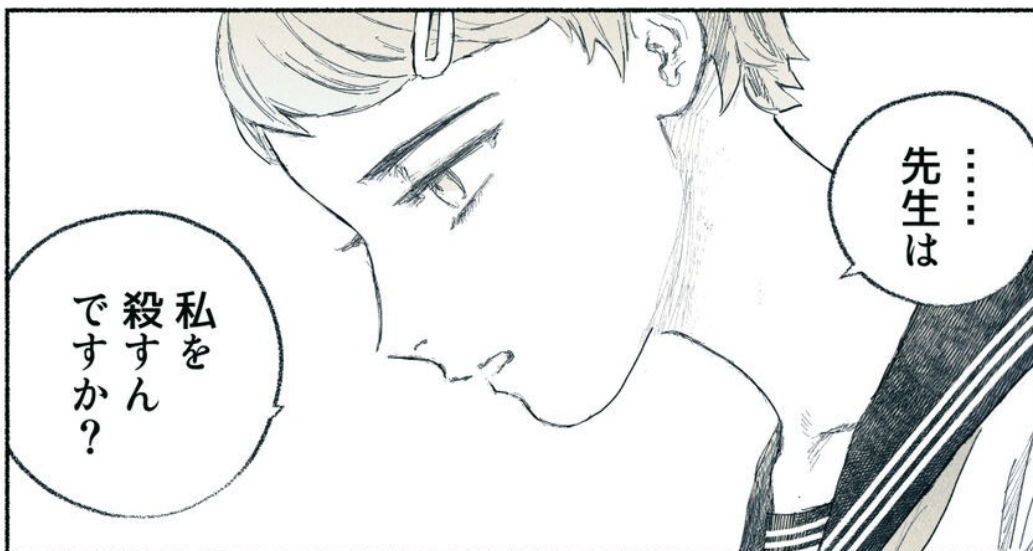


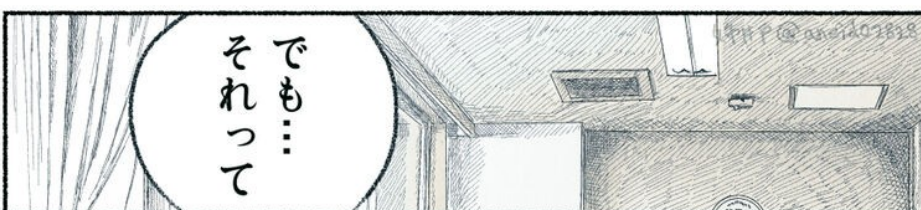
例えば
悲しくて
涙を流す
のは

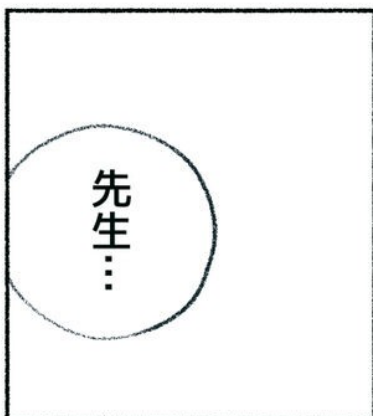
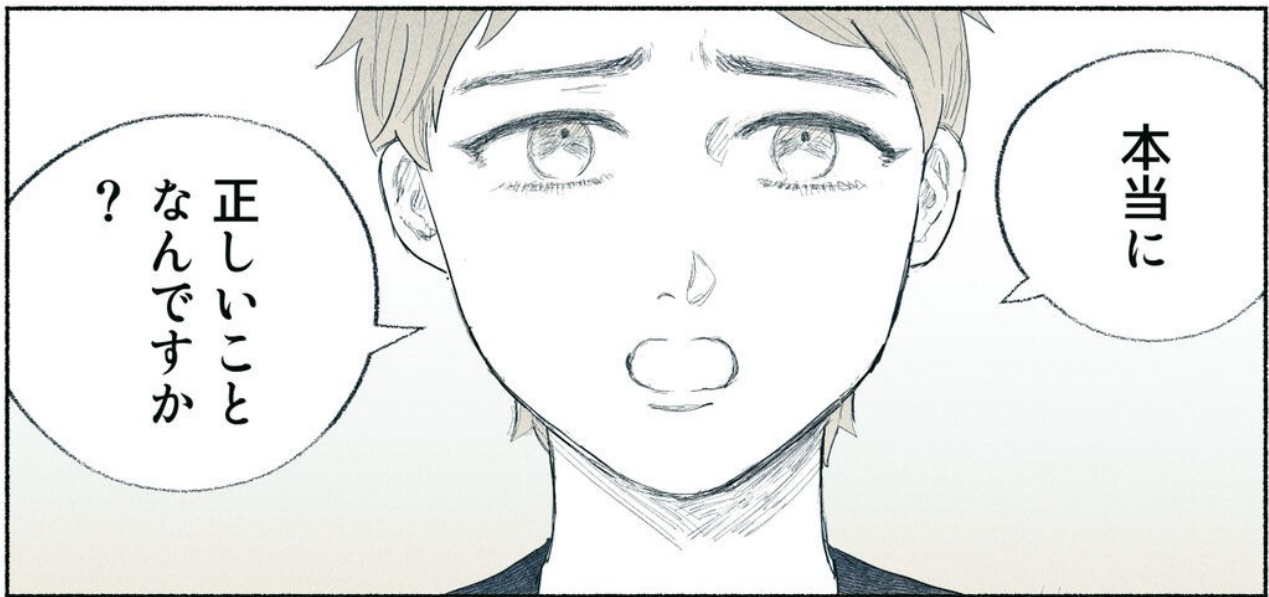
弱いからだ
と思われて
いる

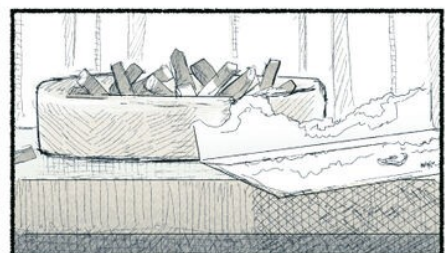
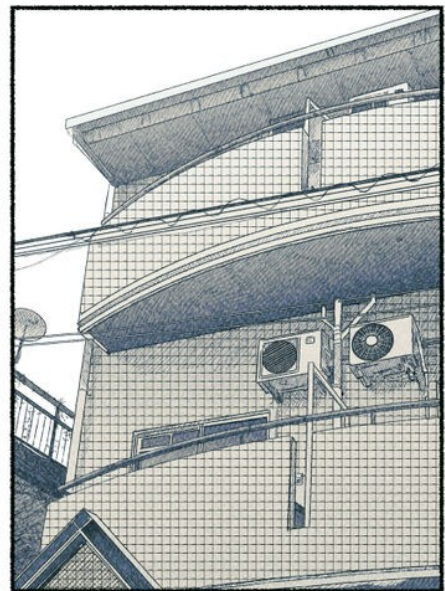
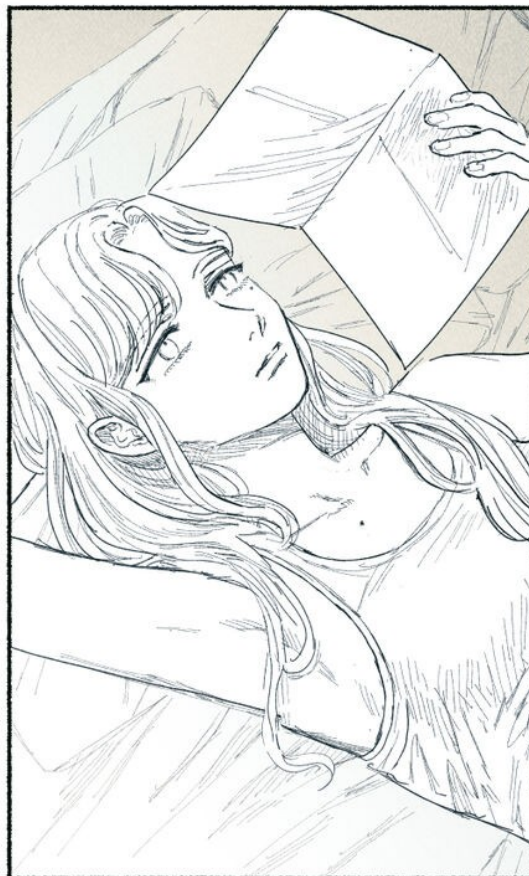


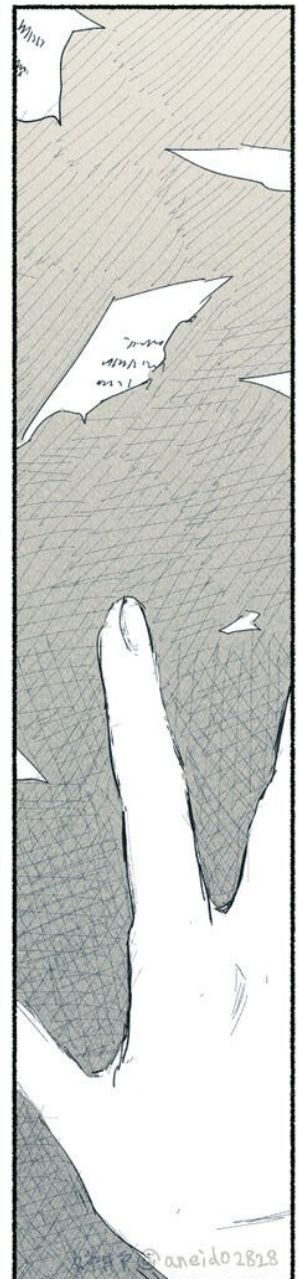
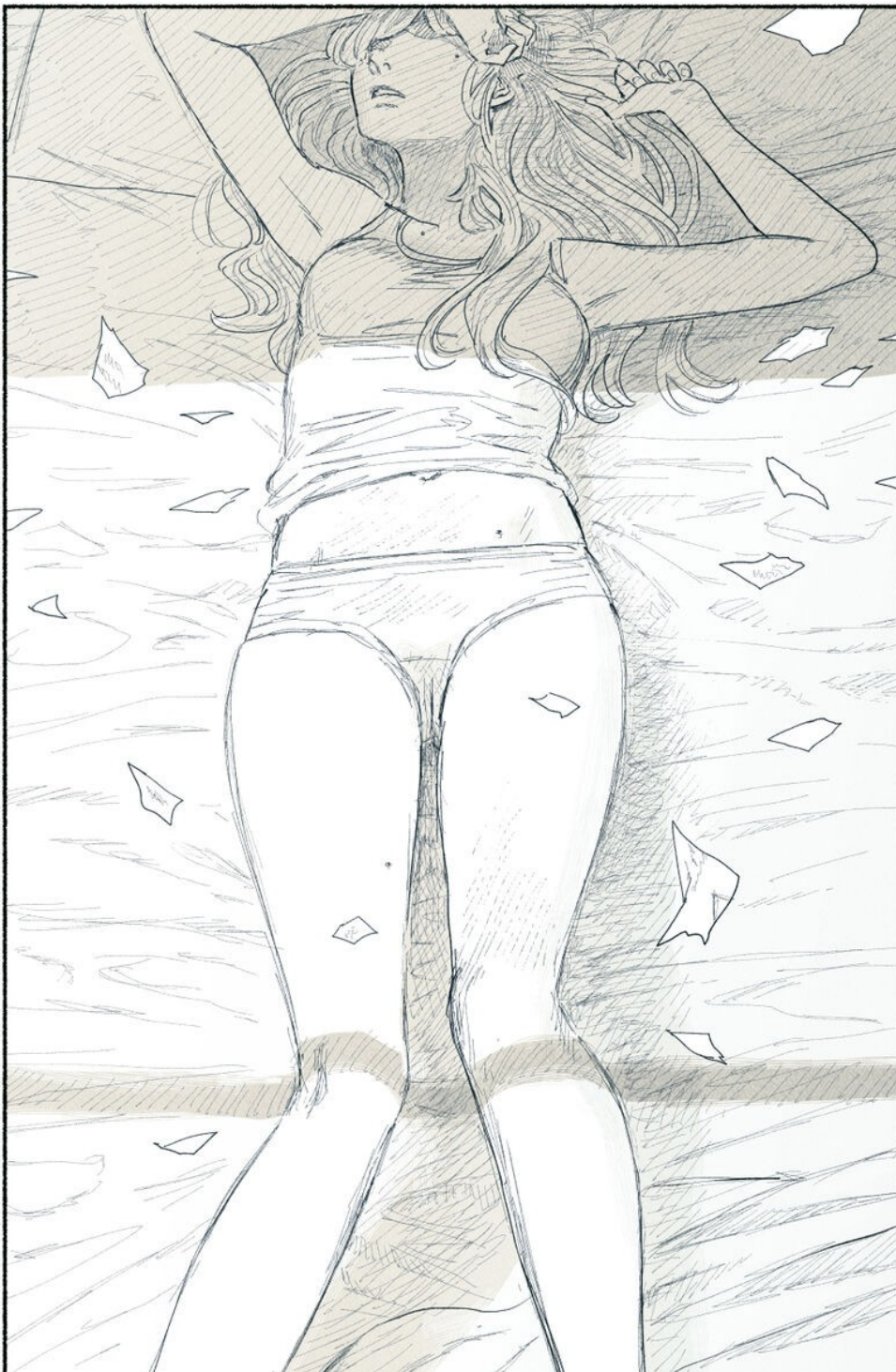
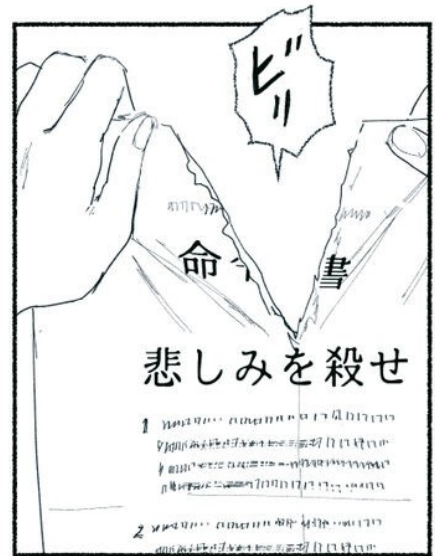
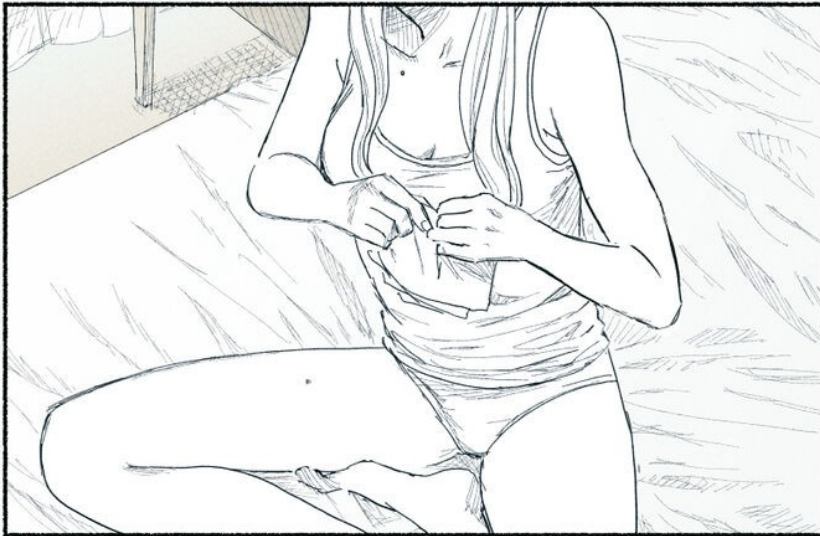


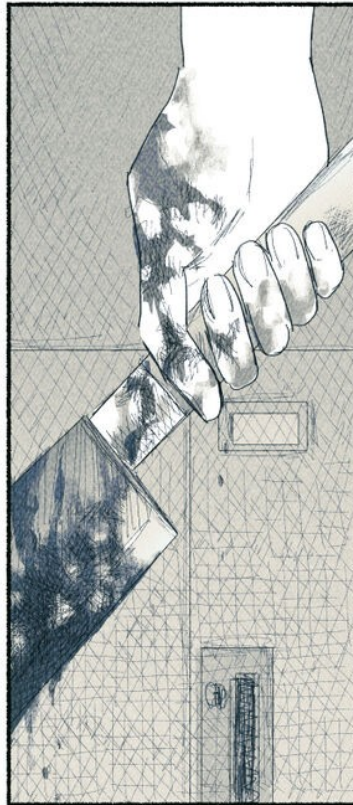


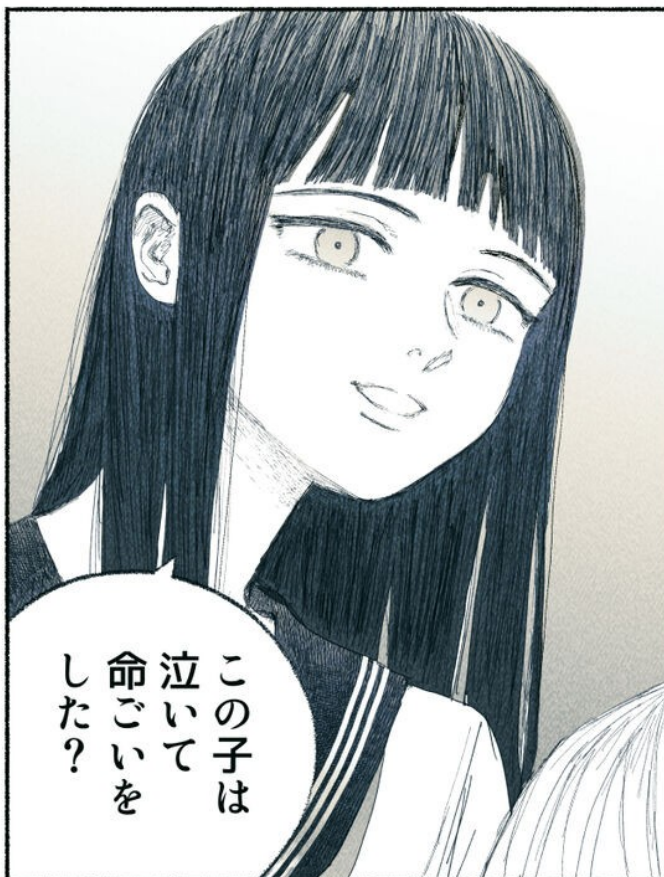














私は……



ああ……

『^{わたし}罪悪感を
殺さないで』

『あなたには
私が
必要よ』

と何度も
言った



私が
分からない

分から
なくなる
……



先生は今

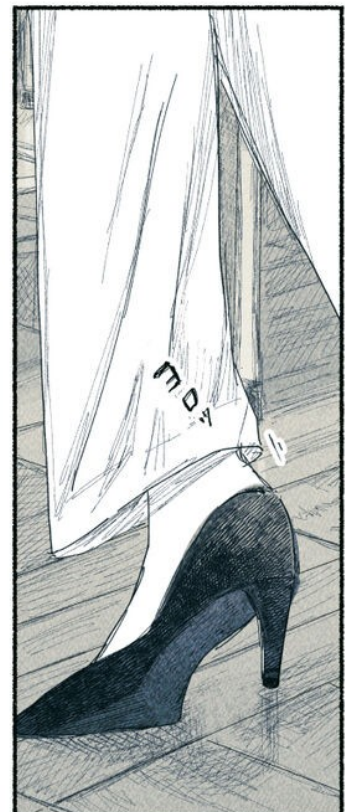
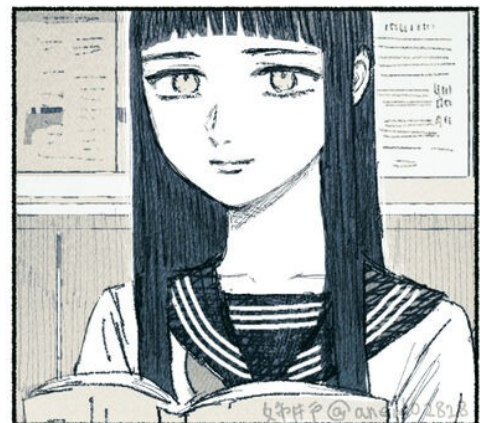
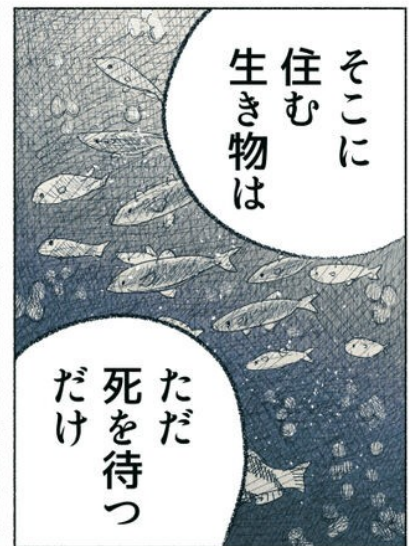
大切な
ものを
失ったと
思ってる

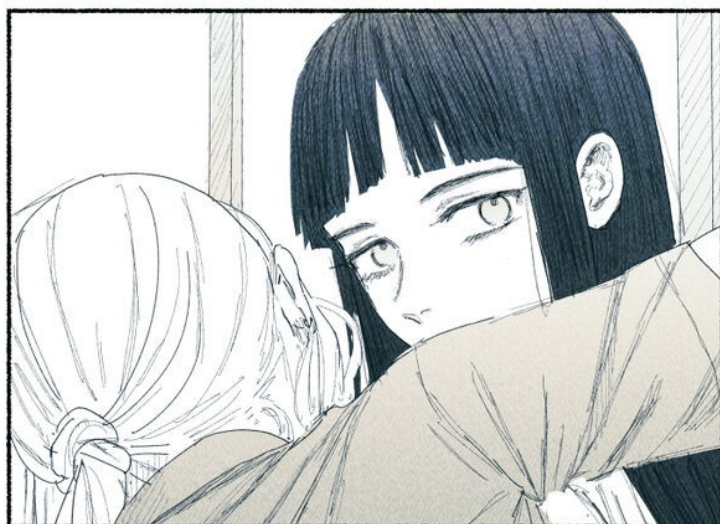
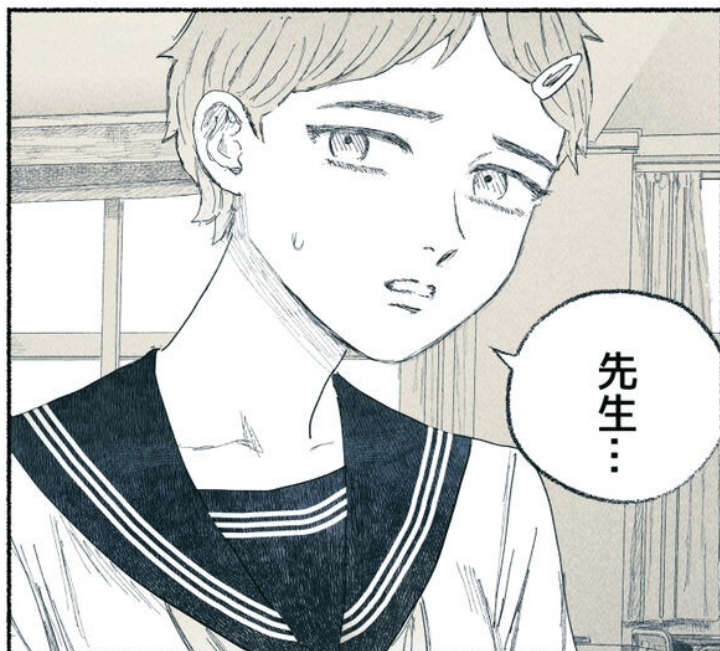
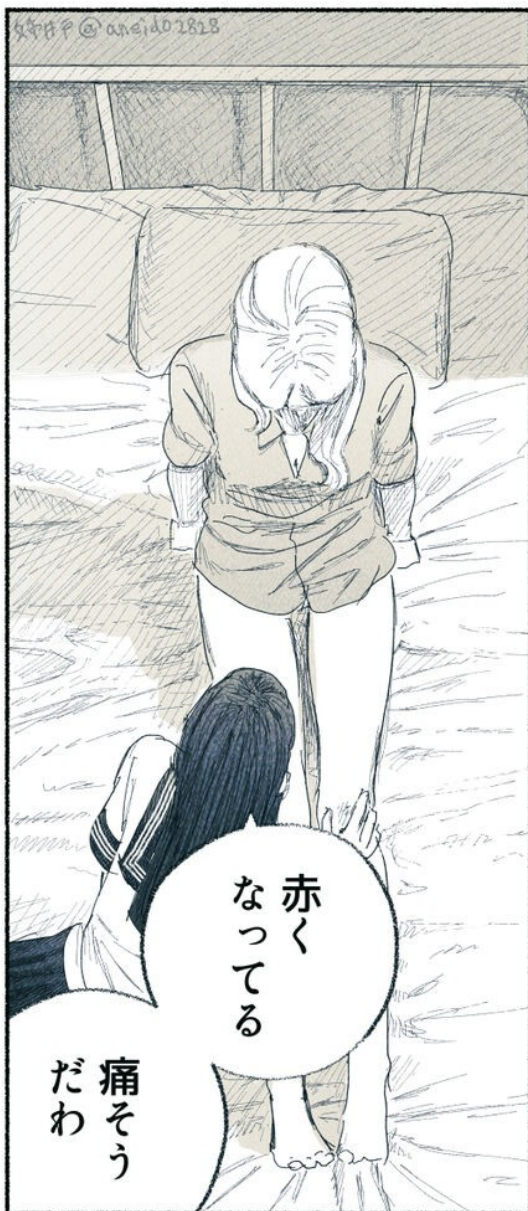


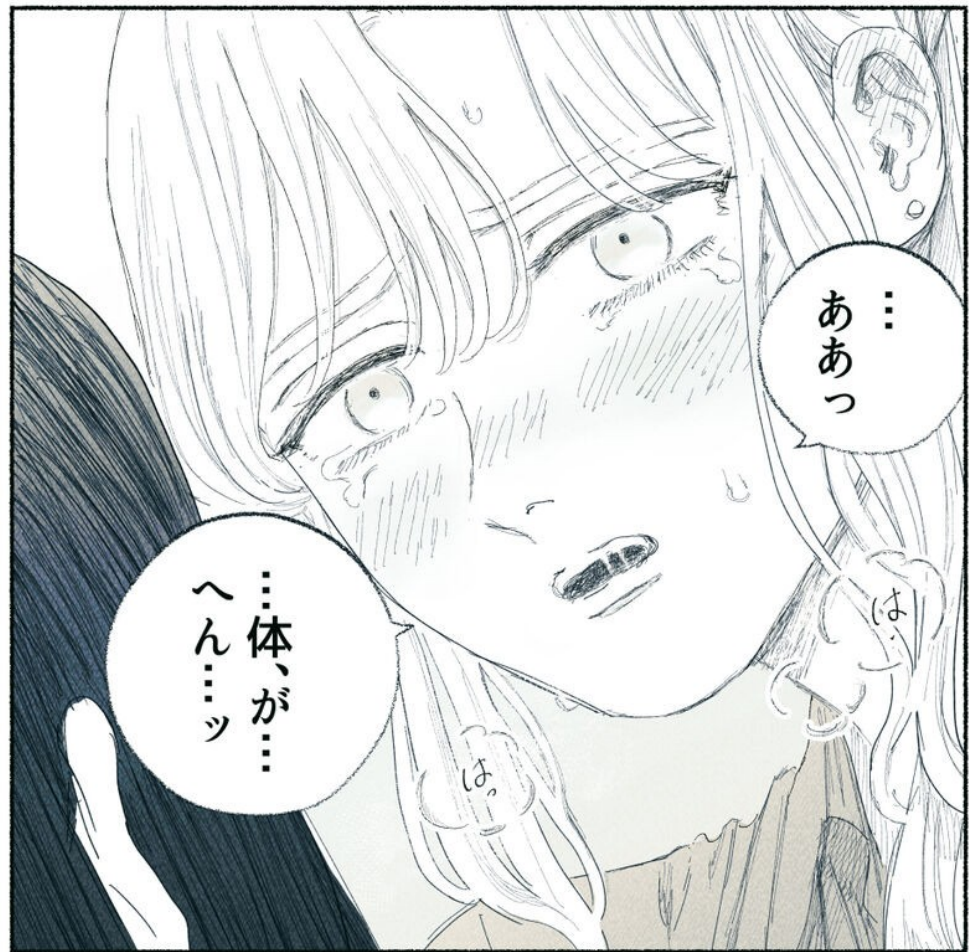
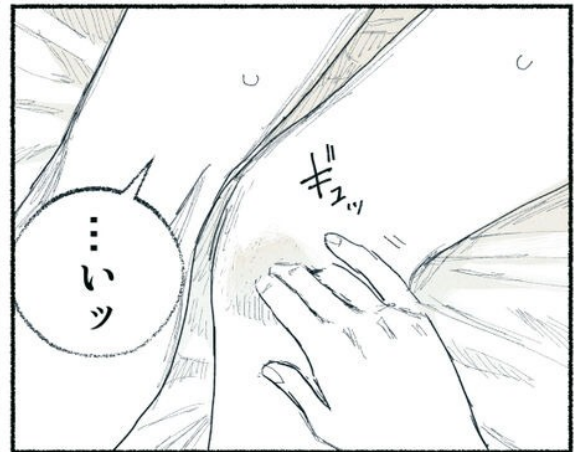
……
せんせい

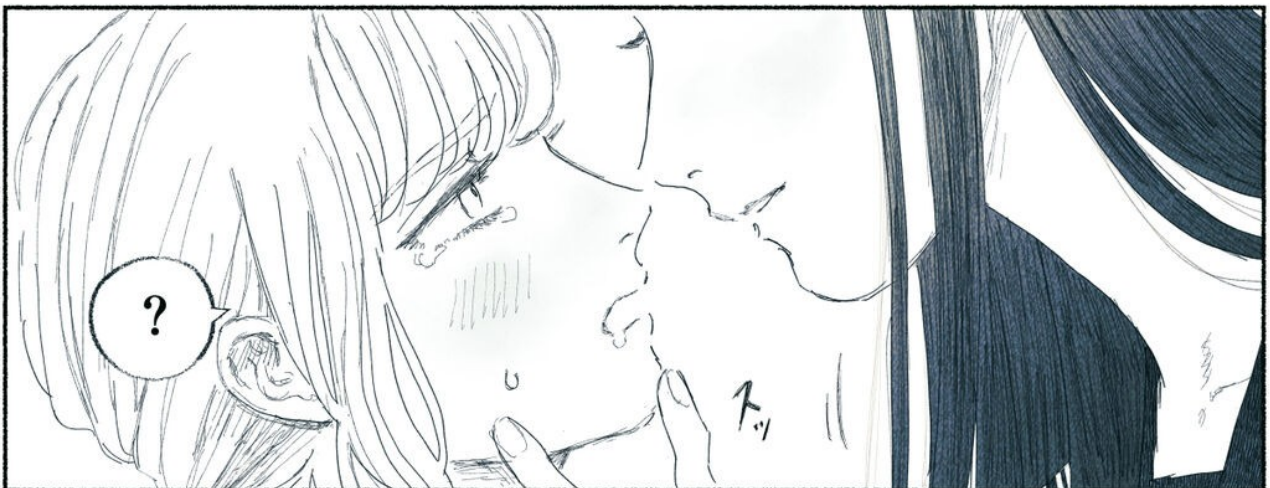
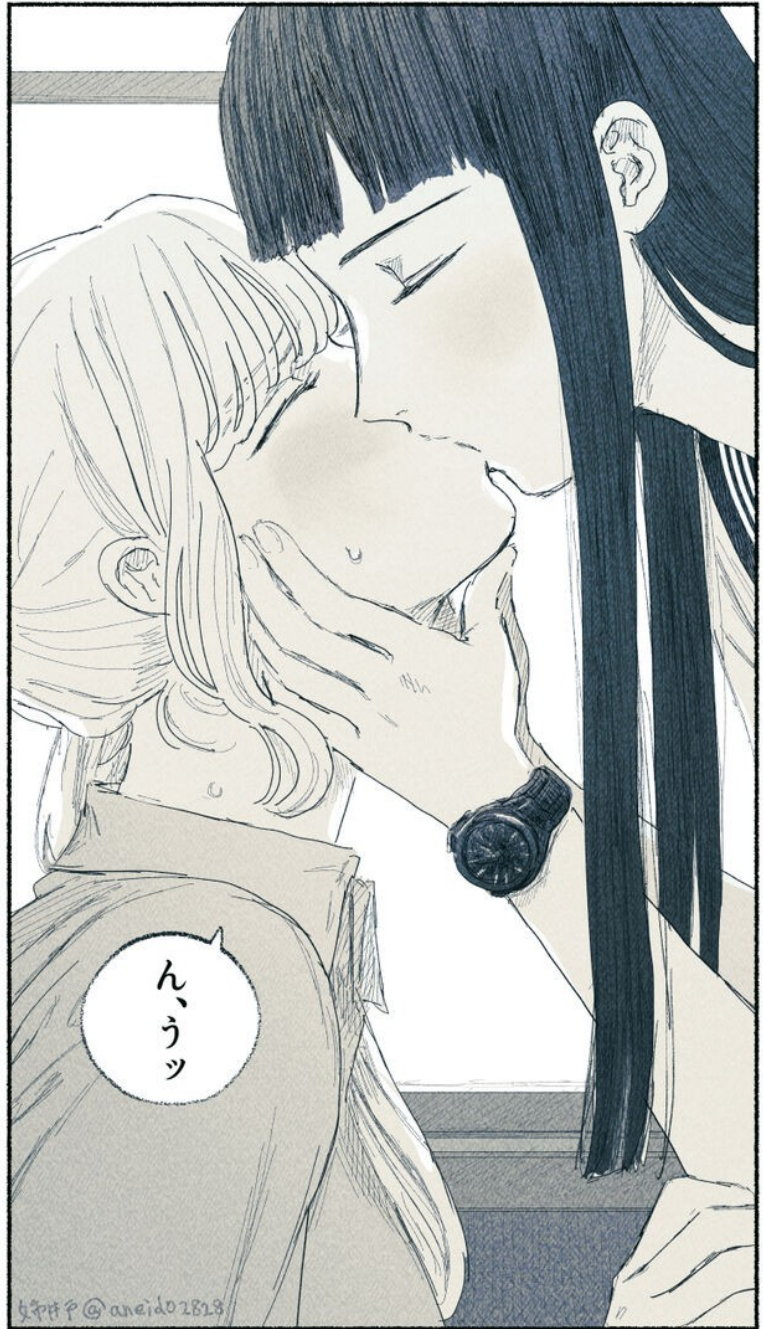
ねえ、
先生

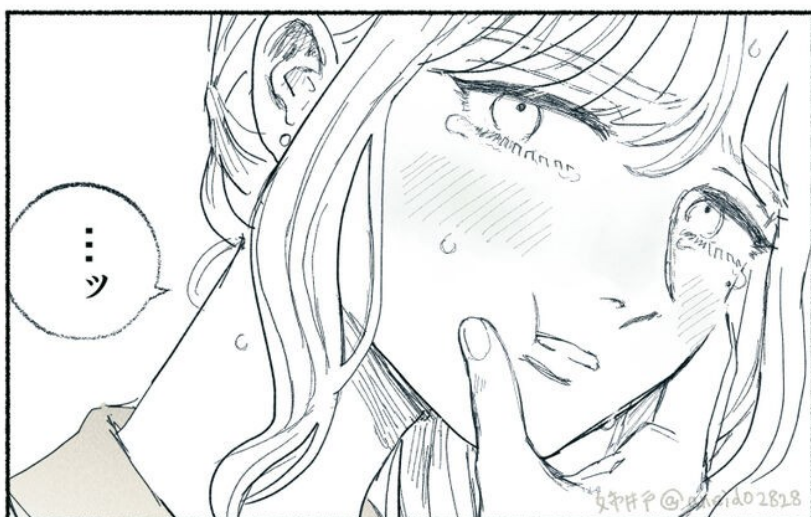
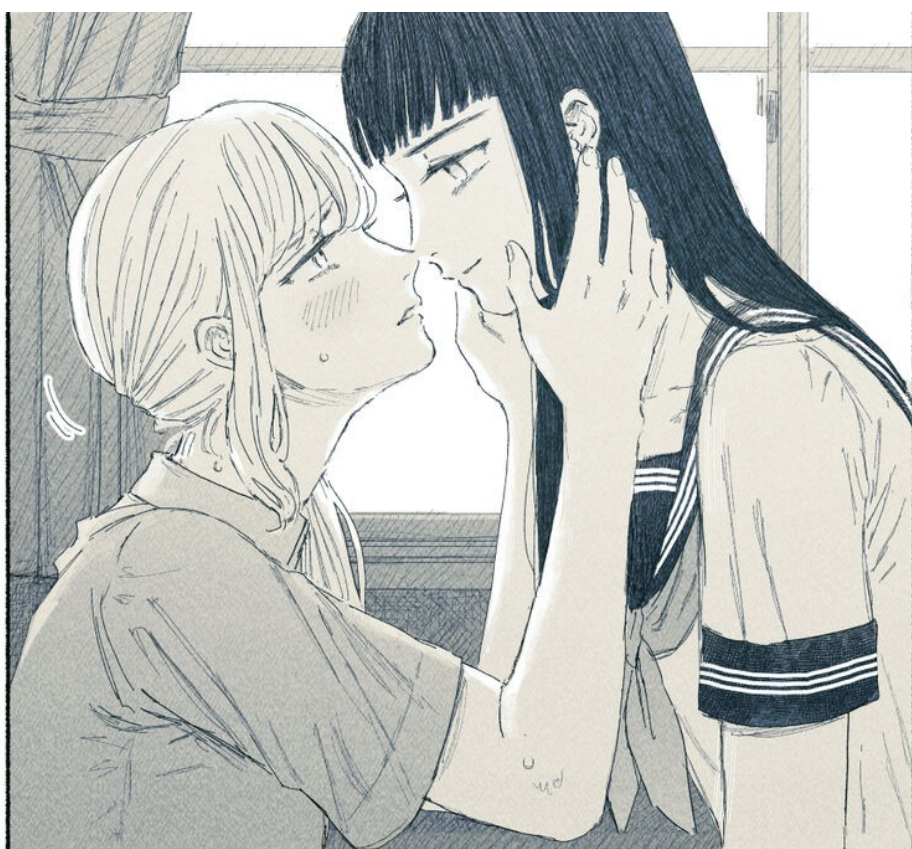
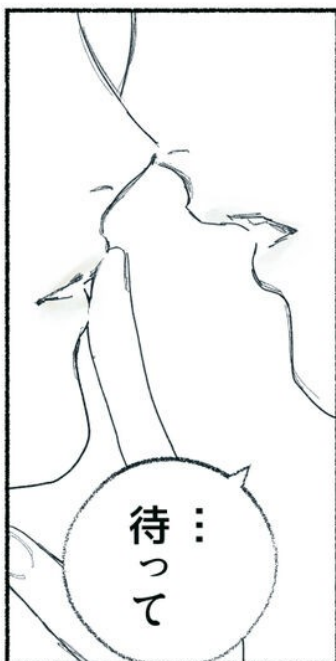


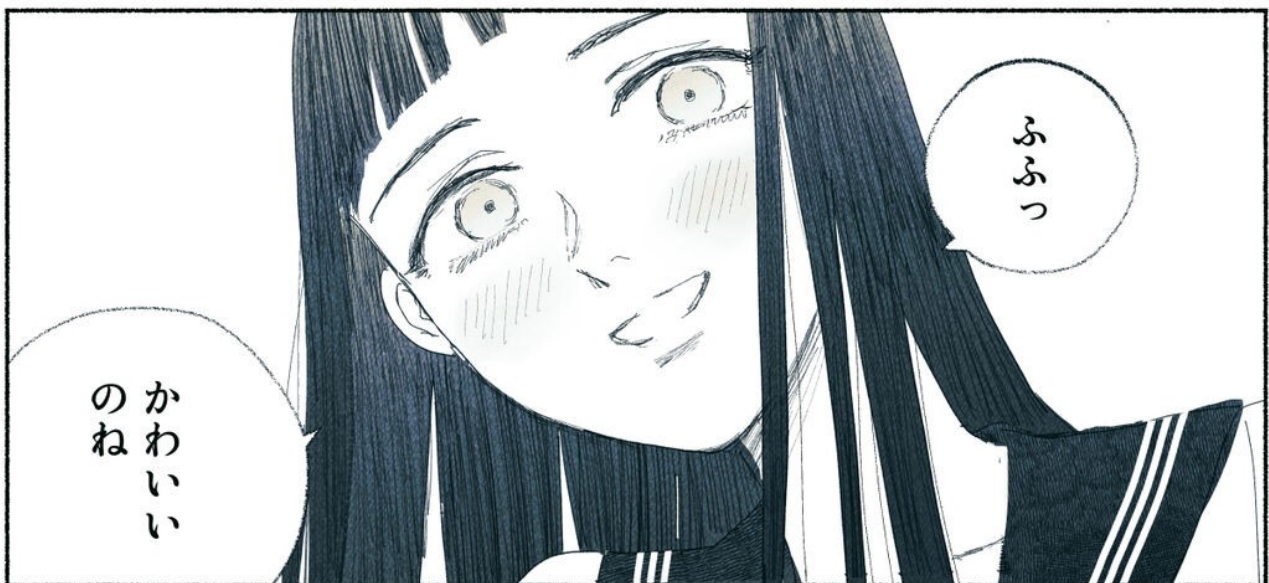




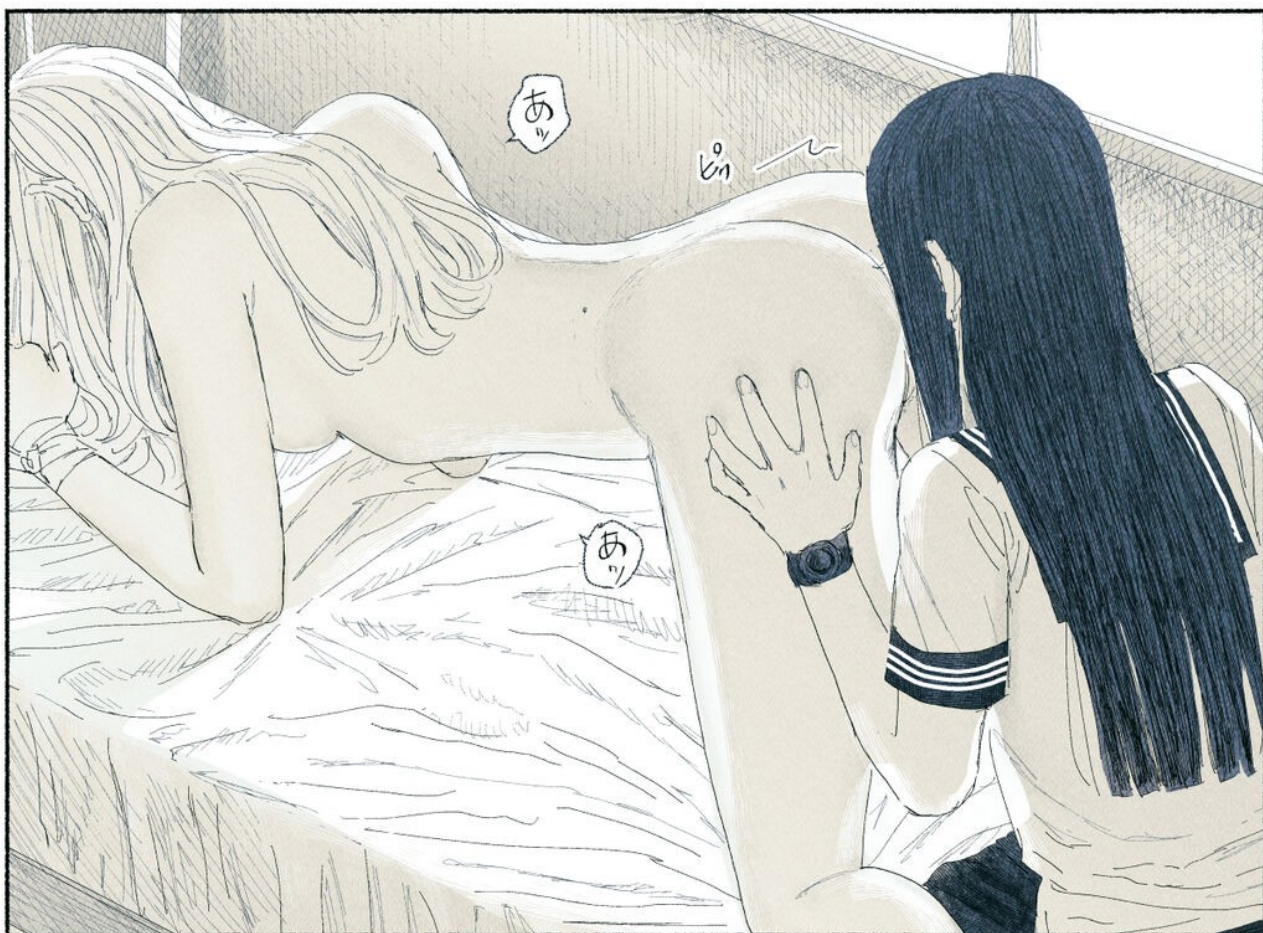


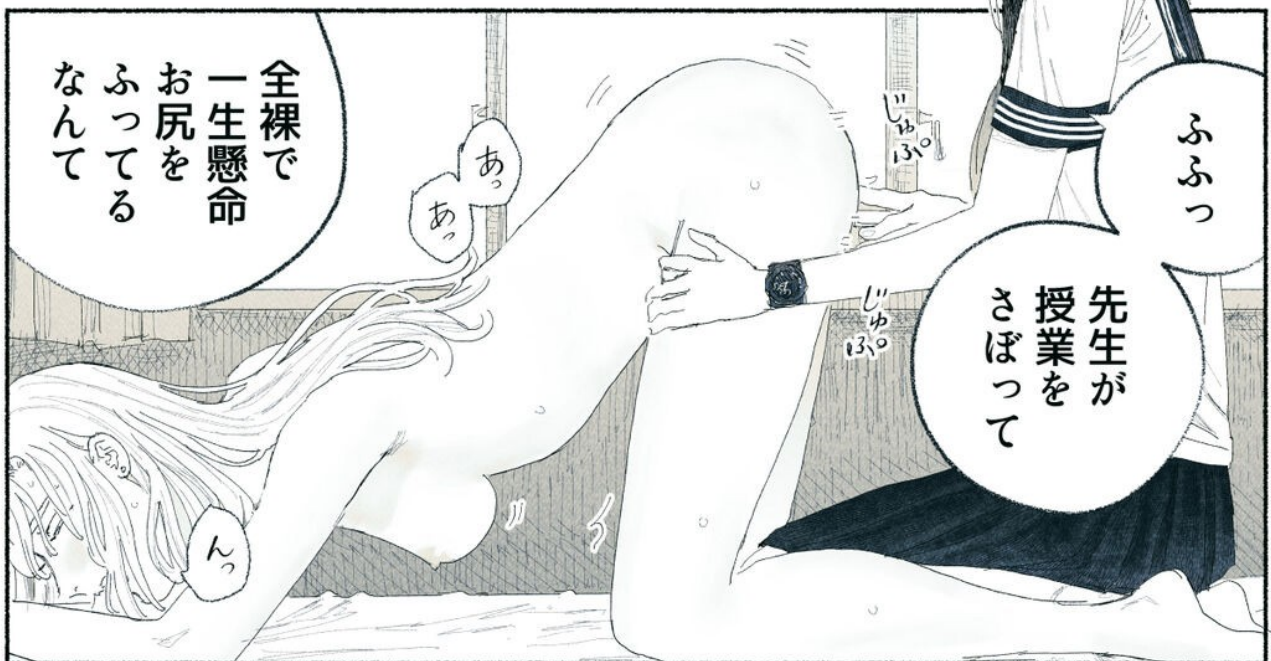




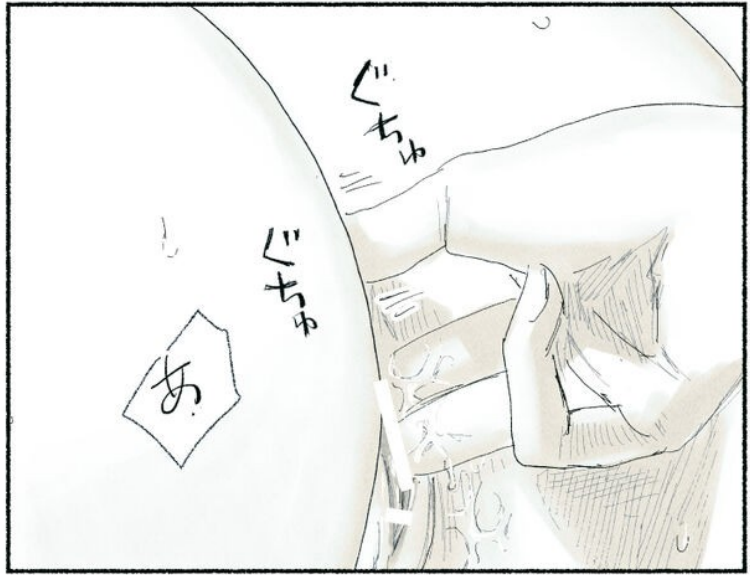


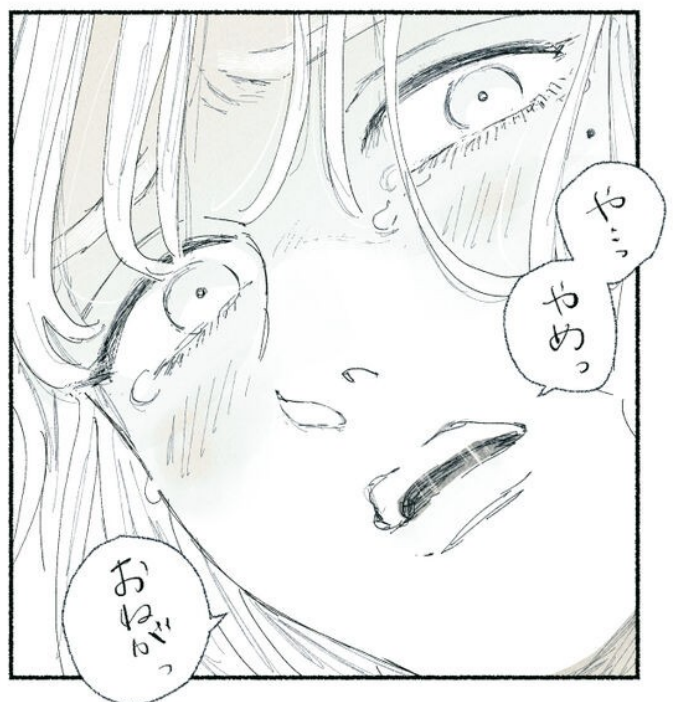


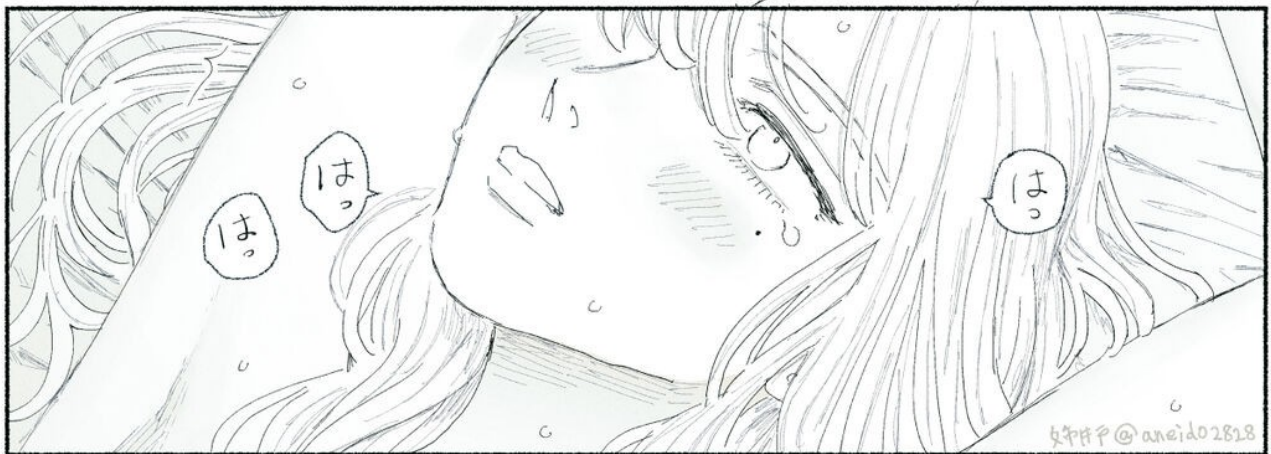


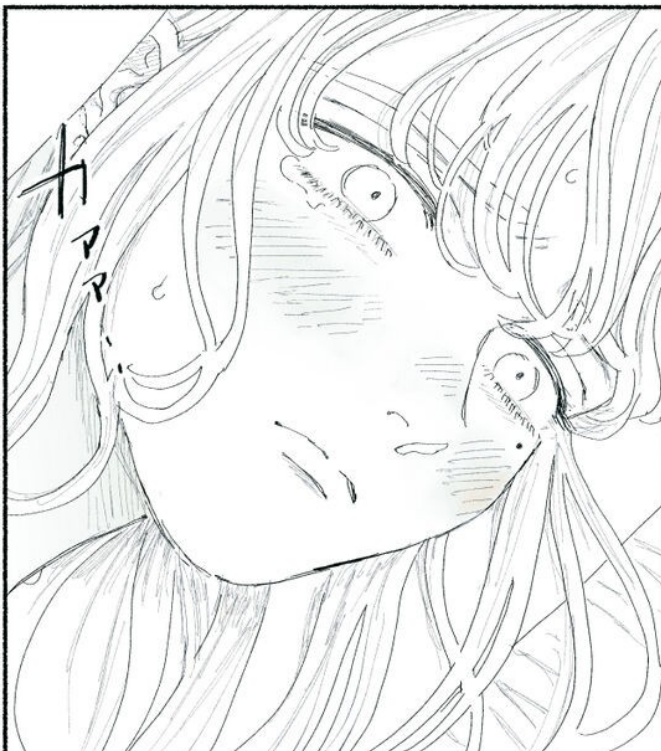


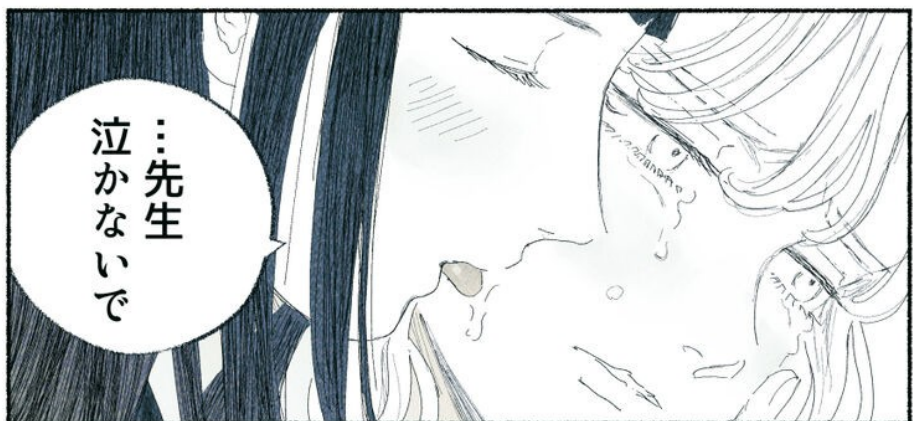
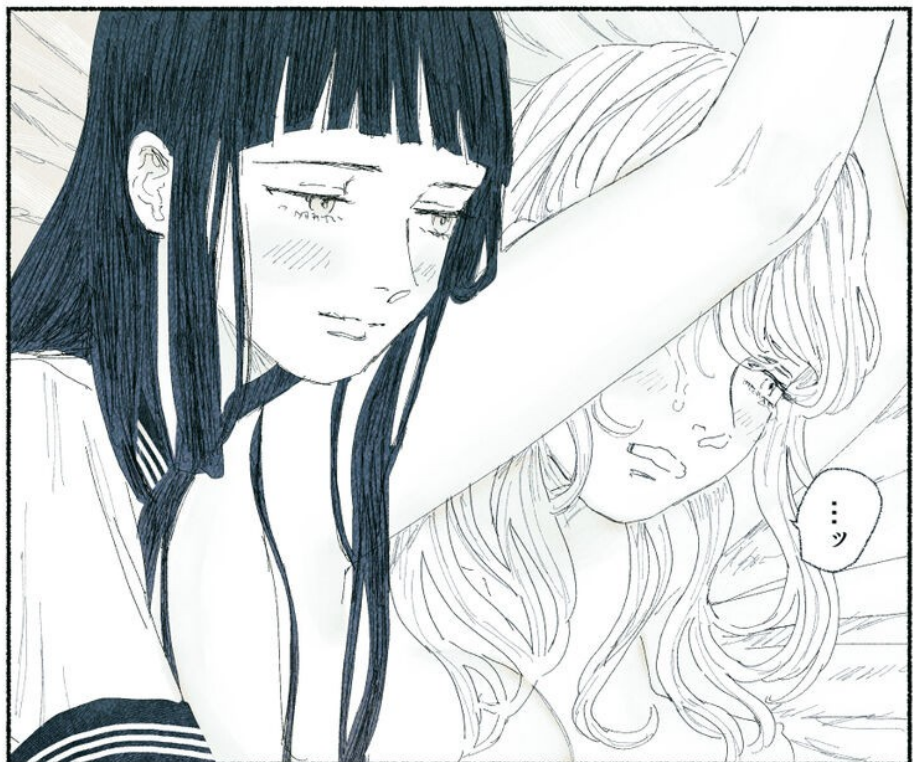




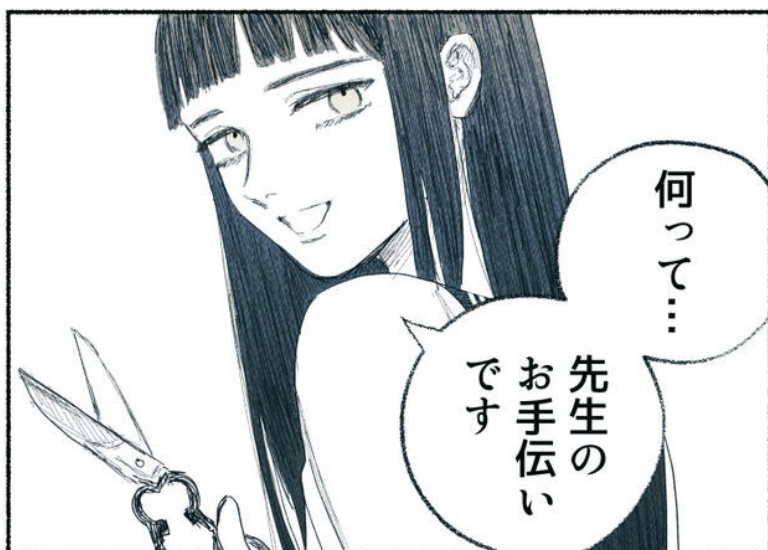
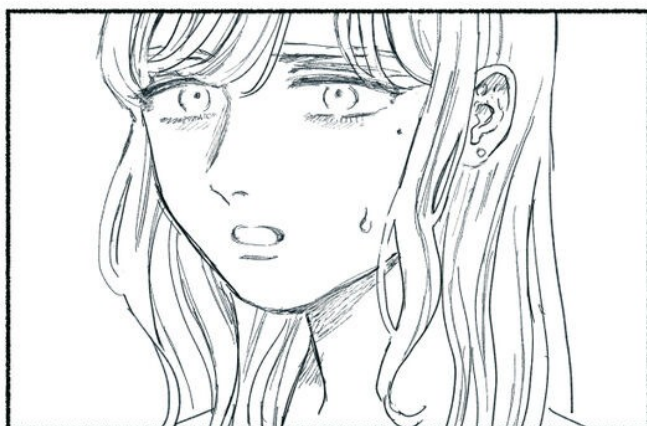
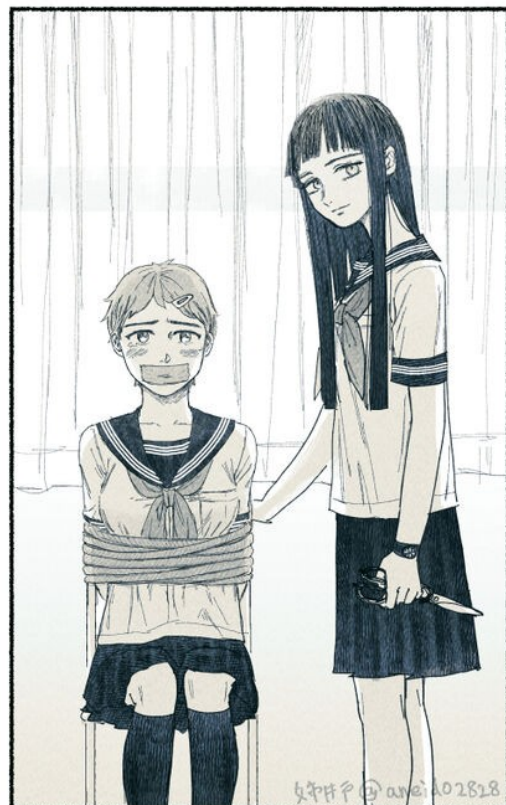


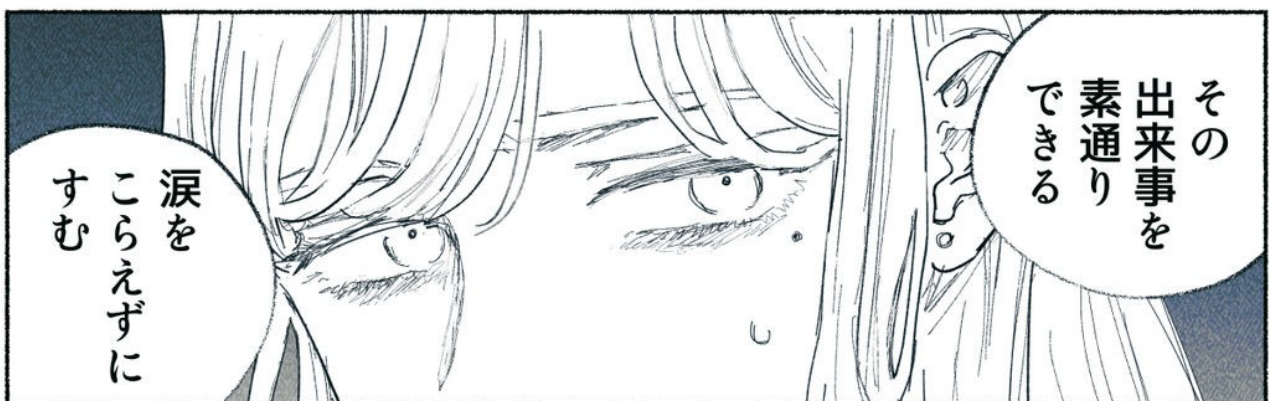
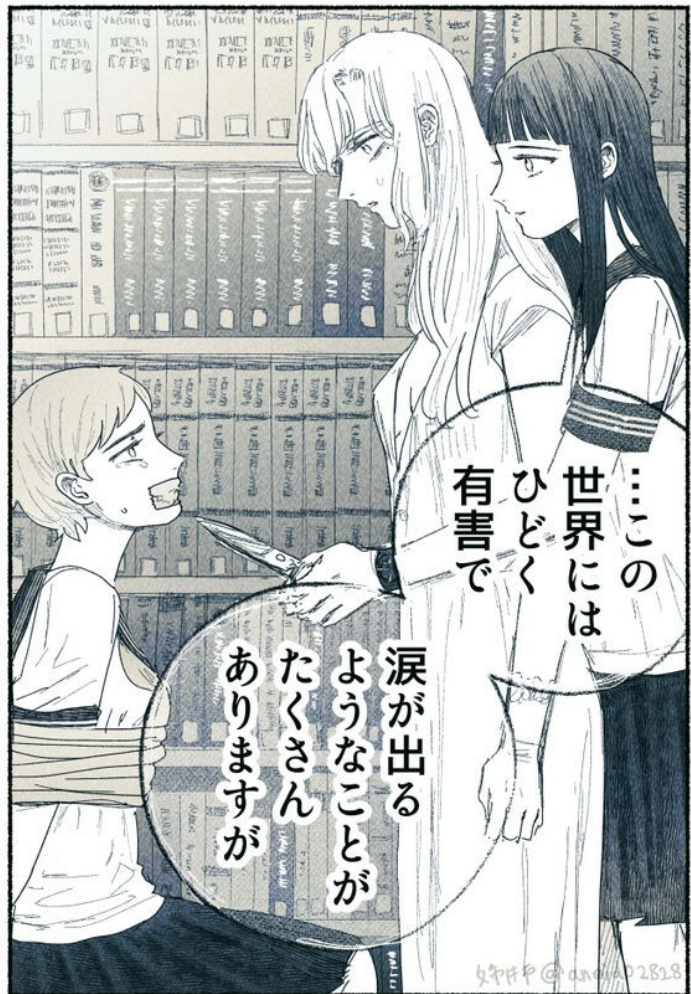
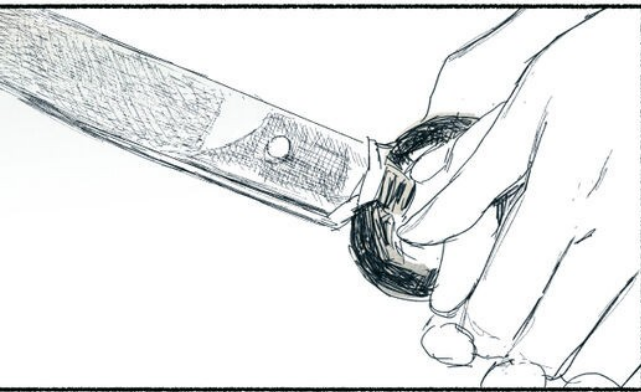








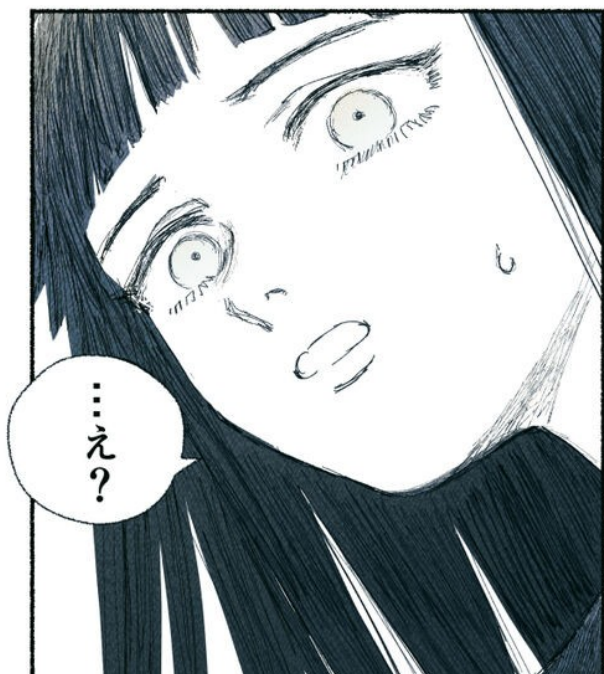


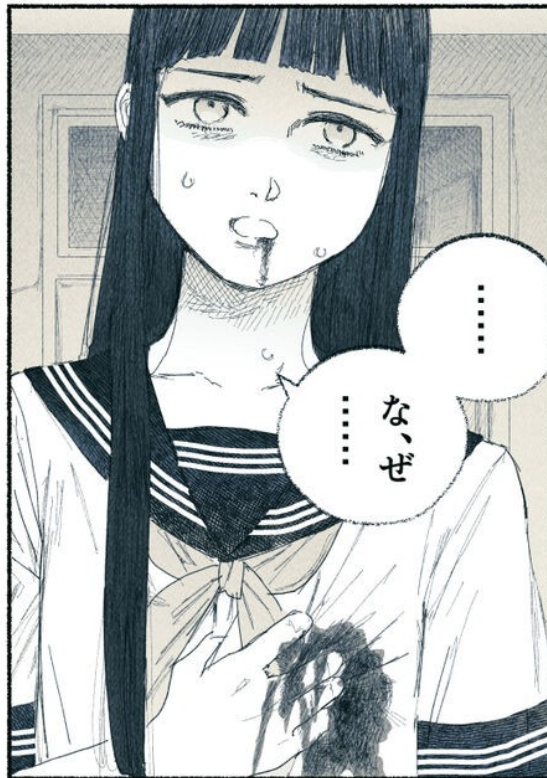


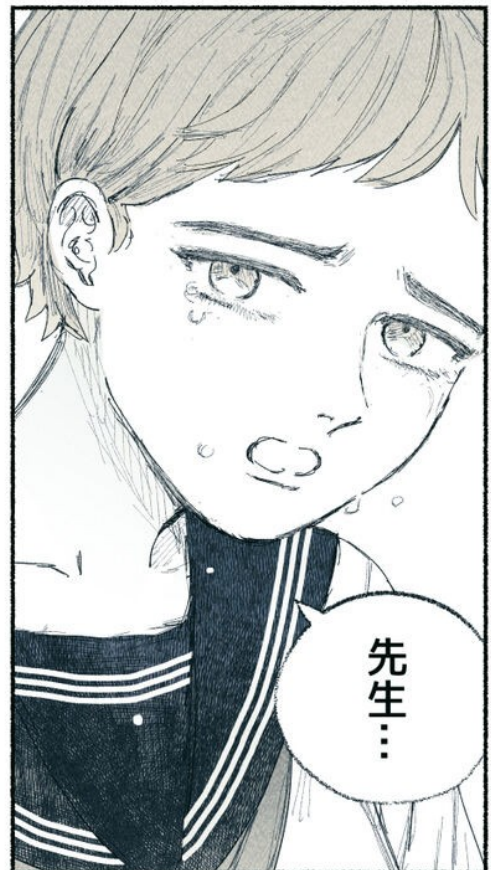
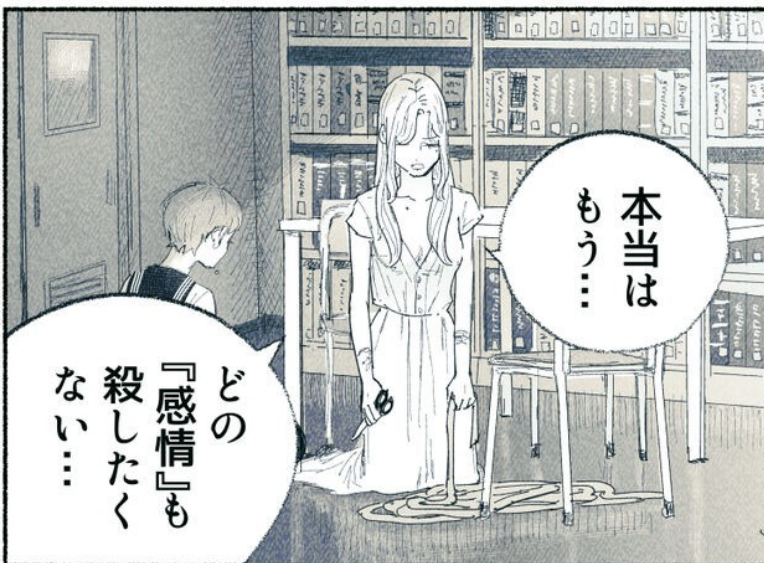
生きる
ことが

ずいぶん
楽になる











キャラクター設定

